

祝 五中-瑞陵創立 110 周年

110周年特大号

創立110周年を祝して



瑞陵会会長 中村利雄（瑞17回）

五中-瑞陵創立110周年を同窓生各位とともに心からお祝いしたいと思います。

6年前、高木会長から瑞陵会会長をお引き受けした際、同級生から直ちに110周年はどうするのかとの質問を受けました。以来、私は100周年ほど立派にできるかどうかは別にして、10年単位の周年事業はぜひ実施したいと考えてきました。

高木前会長は、瑞陵高校は「五中」という銘木に新生瑞陵高校を接木してできた樹木であるとの言葉を残しておられます。私は17回生で1962年入学でありますから、110年の半分の55年を瑞陵とともに過ごしたことになります。私が在籍した頃は新制高校になって未だ17年しか経っておらず、五中出身の数多くの高名な先輩が活躍されている時代であり、我々は五中の後身に当たる高校に在籍していることに誇りを感じておりました。

校風と伝統は、在学生・同窓生、教職員の方々によって育まれるものであります。10年単位で周年事業を行うことは、校風と伝統を確認し、それを育む意思と関係者の絆を強くする良い機会であると考えています。

幸いにして近年、杉原千畝先輩や感喜堂の修復問題がしばしばマスコミでも取り上げられ、本校が注目を浴びる話題に事欠きません。

こうした中で110周年を迎えることは、校風と伝統を育む事業を行う絶好の機会であると思い110周年事業の準備に着手しました。まず資金を募り管理する組織として「一般財団法人瑞陵高校瑞陵会基金」を設立しました。この財団の設立により各種の事業をより適切かつ機動的に行うことができるようになりました。具体的には名簿の発刊、感喜堂の修復と学習室の設置、偉大な業績を上げられた先輩諸兄の顕彰、在校生の活動支援等々多くの事業が着手、実現されています。

さらに鳥居先輩を初めとする五中OBの格別のご尽力を得て、五中の跡地である名古屋市立瑞穂ヶ丘中学校の校地に五中を記念する石碑が建立されることになりました。石碑の建立は、五中-瑞陵の流れをより明確にし、我々の誇りの拠り所になるものと期待しています。

また、今後、同窓生間の交流の活発化にも注力していきたいと思っています。同窓生であることが分かると直ぐに打ち解けた雰囲気になることは多くの方々が経験されているとおりで。

母校の発展と同窓生間の交流の活発化を図ることは、同窓会の大きな役割、使命であると考えています。

瑞陵高校はこれまで歴代の校長先生を初めとする教職員の方々、在校生、同窓生各位のご尽力によって発展を遂げてきました。我々同窓生にとって母校の発展を見ることほど嬉しいことはありません。

今後とも瑞陵高校が更なる発展を遂げることを祈念して、また、同窓生の皆様の母校に対する一層の御支援、御協力をお願いして五中-瑞陵創立110周年のお祝いの言葉といたします。

五中-瑞陵110周年記念式典・祝賀会及び平成29年度瑞陵会総会

平成29年10月21日（土）

- I 五中-瑞陵110周年記念式典
13時から（12時30分受付） 瑞陵高校 瑞光館にて 1部 記念式典
2部 記念行事 吹奏楽部演奏 先輩からのビデオレター 水澤心吾一人芝居「杉原千畝物語」
- II 瑞陵会総会
16時から16時30分（記念式典・記念行事終了後） 瑞陵高校 感喜堂にて
役員変更の承認、役員会報告等
- III 五中-瑞陵110周年記念祝賀会
17時30分から19時30分まで（受付17時から）
メルパルク名古屋 2階瑞雲東の間（ビュッフェ式） 名古屋市東区葵3-16-16（電話052-937-3665）
5,000円（当日会場にて）

ご挨拶

校長 新井 忠

瑞陵会の皆様には、母校のために平素より多大のご支援ご協力を賜り、心から感謝しております。本校は、明治40年に愛知県立第五中学校として瑞穂の陵に設立され、その後、名前を改め、昭和23年に現在の瑞陵高等学校となり、本年、創立110周年を迎えました。また、平成19年に科学に対する柔軟な思想と感性を育てるコスモサイエンスコースが、普通科に設置されてから10年を迎える節目に当たり、県から、「ものづくり愛知の未来の担う理数工学系人材」の育成に資する S T E M (Science, Technology, Engineering, Mathematics) ハイスクールとして指定を受け、科学技術に関する幅広い知識や思考の習得等につながる授業開発に取り組んでいます。

五中-瑞陵の伝統を守って110年、4万人を超える卒業生の皆様の各界でのご活躍に、心から敬意を表する次第であります。とりわけ、杉原千畝さんについては、一昨年の映画「杉原千畝」の公開や、ユネスコの世界の記憶（世界記憶遺産）への登録（申請中）などがあり、近年では、最も著名な卒業生のお一人であると思います。

その杉原さんの功績を讃えるとともに、名古屋とのゆかりを後世にわたって伝えていくために、昨年、名古屋市が、少年期を過ごした当時の居住地付近にある平和小学校から、出身校である現在の瑞陵高校までを「杉原千畝・人道の道」と名付け、ゴールとなる本校を含めた6箇所の銘板と2箇所の案内板を設置しました。

さらに、愛知県が、杉原さんのビザの発給に関する人道的な功績とともに、博愛精神などの人格形成期にあった五中在校当時の作文など、杉原さんの人柄を伝える展示物から構成される顕彰施設を、正門西側約500㎡のスペースに、来年、設置する予定です。これにより、瑞陵高校の前身である第五中学校の卒業生の歴史的功績を世界に発信し、特色ある学校づくりに資するものになることが期待されています。

なお、昨年、この施設設置のための資料収集を目的とした、県教委のリトアニア現地調査に、私も同行しました。その中で、カウナスにある杉原記念館（杉原さんが執務した旧日本領事館）を訪問した際には、築70年を超え老朽化が著しい建物の修繕のための基金に、同窓会からの募金3000ユーロ（約40万円）をお届けしたことをご報告申し上げます。



カウナスのスキハラハウス（旧領事館）にて



さて、伝統校という言葉がありますが、伝統校という言葉は、単に積み重ねてきた時間の長さだけに由来するものではないと考えております。先輩方から引き継いだもの、それを今、もしくはこれからの自分の人生に活かし、そして、後輩たちにきちんと引き継いでいくことができるのが伝統校だと思います。周年事業は、過去を振り返り未来へ夢を託す事業であり、110周年記念式典を、母校の歴史と伝統を現役の生徒と共有し、一体感を深め、未来を志向する機会にしたいと思っております。

これからの社会は、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、社会や職業のあり方そのものが、大きく変化する可能性があります。多くの面で大変難しい時代ではありますが、瑞陵生の育成・教育に日本の未来を見つけ、希望を持ちたいと願っております。

今後とも、本校の充実・発展のために、職員一同全力で取り組んで参りますので、中村会長様を始め瑞陵会の皆様におかれましても、母校の後輩たちに対し、変わらぬご支援を賜りますようお願いを申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



杉原千畝顕彰施設について新聞で大きく取りあげられた。
(2017年9月7日中日新聞) 許諾番号 20170923-20050

110周年記念事業

1 記念式典、記念行事

- (1) 日 時 平成29年10月21日(土) 午後1時から3時35分まで (12時30分受付開始)
- (2) 場 所 瑞陵高校瑞光館(体育館)
- (3) 内 容 記念式典、吹奏楽部演奏(吹奏楽部創部50周年記念委嘱作品初演ほか) 先輩からのビデオレター
水澤心吾 一人芝居「杉原千畝物語」鑑賞

2 祝賀会

- (1) 日 時 記念式典終了後 午後5時30分から7時30分(午後5時受付開始)
- (2) 場 所 メルパルク名古屋(地下鉄千種駅1番出口正面)名古屋市東区葵3-16-16
- (3) 会 費 5,000円(当日支払い)

3 記念事業

- (1) 瑞陵会会員名簿の作成(2014年10月発刊)
- (2) 旧講堂・図書館(感喜堂)耐震改修工事に伴う内部整備
 - ① 定時制給食室と普通科生徒の学習室とを分ける可動式間仕切り設置(2015年8月完成)
 - ② 空調施設の設置(2015年8月設置)(リース代金約1,100万円不足)
 - ③ 感喜堂に先輩顕彰パネルを設置(江戸川乱歩・杉原千畝氏)
- (3) 110周年記念関連行事
 - 書籍『杉原千畝と命のビザ』を図書館に寄贈 感喜堂行事の新設
 - 記念ゴルフ大会の開催(2017年5月3日 藤岡カントリークラブ)
 - 「五中記念碑」の設置

2017年8月末までの募金総額
10,748,130円
「五中記念碑」に約100万円支出しますので約200万円不足しております。
さらなるご協力をお願いいたします。

感喜堂(旧講堂・図書館)の内部整備

感喜堂は大正13年に愛知県立商業学校の講堂として外壁は鉄筋コンクリート、屋根は木造という大正期の建築様式で作られたが、昭和23年に瑞陵高等学校になってからは講堂として使用された。昭和39年には瑞光館竣工に伴い図書館として使われた。昭和54年には図書室が本館3階に移動したのに伴い一部を調理場に改築し、定時制給食室となって現在に至る。

平成15~17年度に教室棟耐震工事が行われ、感喜堂の耐震工事も切望されていたが、取り壊して新たに給食室を建造する案も出ていた。旧制の中学校にはそれぞれ同様の建造物が存在したが、現存しているのは名古屋市では瑞陵高校だけであり、平成24年には、名古屋市(歴史的まちづくり推進室)から歴史的建造物への認定について打診があり、県として保存を検討することになった。

このとき、県から同窓会としての意向が尋ねられ、瑞陵会役員会で協議した結果、会長名で県に対して陳情書を提出することになった。

平成25年6月には、大村愛知県知事、河村名古屋市長がそろって感喜堂を視察され、この模様は新聞でもとりあげられた。平成26年には県の耐震改修工事が決定され、6月4日(水)メーテレの「注目ニュース」で「名古屋市内最古の講堂 保存へ」と報道された。

このような経緯で、感喜堂耐震改修は県の予算で執行され、平成26年7月着工、平成27年3月には竣工した。

定時制の学級減により給食室に少し余裕が生じたこともあり、瑞陵会では110周年記念事業の一つとして、スライディングウォールを設置して北側四分の一を仕切り、生徒用学習室として利用できるように整備し、エアコンを導入する計画を立て県の承認を得た。また、学習室に先輩顕彰パネルを設置することにした。

これらの費用には、一般財団法人「瑞陵高校瑞陵会基金」に寄せられた寄付金が充当された。しかし、県はエアコンの寄付は受け付けていないため、13年間のリース契約で設置することになったことから、完成時点では将来のリース代金として約1,100万円が不足することになり、110周年記

念式典に向けてさらなる寄付をお願いすることになった。スライディングウォールとエアコンの設置等は平成27年の夏休み期間に行われ、完成後の9月14日には感喜堂改修完成式典が行われた。

先輩顕彰パネルとして、まずは江戸川乱歩、杉原千畝の両氏のパネルを設置した。今後、谷川徹三、岡部金治郎、都留重人氏のパネルも設置していく予定である。

さらに、平成29年9月には、スクリーンとプロジェクターを整備し、多目的な活用ができるようになった。



感喜堂北側の学習室、北側(写真右側)の壁には江戸川乱歩と杉原千畝の業績などが展示されている。

吹奏楽学部創部50周年記念委嘱作品

10月21日の創立110周年記念式典後には、吹奏楽部の演奏があり、瑞陵高校吹奏楽部創部50周年を記念して「愛知五中・瑞陵高校に相応しい曲」を作曲家の清水大輔氏に委嘱してできた、「ライチャス・アマング・ザ・ネイションズ『命のビザ』を作った男(Righteous among the nations A man who made a "visa for life")」の初演が行われます。作曲家からは、「おらかな校風の中にも流れる「良心」に着目し、杉原千畝氏をテーマにして書いてみました。瑞陵生に愛される曲になることを願っています。」というメッセージをいただいています。

「五中記念碑」の設置

五中の大先輩諸兄から旧五中の跡地に「五中記念碑」を建造したいとの強い要望があり、瑞陵会役員会で110周年事業のひとつとして実施することが決定されました。

“文と武の双の光の輝やかん後の誉よ”とこしなえに!!
—五中の校歌より—

「五中記念碑」建設計画に因んで・・・



鳥居 大 (五中37回
瑞陵会名誉顧問)

私は1942年(昭和17年)4月から、1947年(昭和22年)の5年間、五中(愛知県熱田中学校)に学んだ。この間の概要は、嘗て、記念誌「五中・瑞陵八十年」の「五中時代—(1907—1947年)」に“戦

争・工場動員・空襲・義勇隊そして敗戦”と題して拙文を草してもいるので、ここでは省きたい。

私にとってもこの五中に学んだ5年間は、88才となった現在でも決して忘れることのできない、少年から青年になろうとした希望に燃える夢多き時代であった。

太平洋戦争緒戦の勝利～勝利から、ミッドウェー海戦の大敗北を境に次々と重要戦略的拠点を奪われ、遂には連日連夜の米軍の空襲等、前述の「八十年史」に記述の標題に揚げたような5年間、今日、瑞陵高創立110年を迎えるに当り、それらの「想い」は年経るごとに忘れ難く、ますます深まるばかりである。

敗戦後、米軍を主とする占領軍政下教育制度の全面的変革による、「新制高校」の発足を機に、近隣各種中等学校の統廃合、幾度もの校名変更等と目まぐるしいばかりの経過を経て、漸く、現在の瑞陵高校の発足となったが、これらの変遷・経緯の中で、瑞陵高にとって最大の変革は、その所在地の移転であった。瑞陵は五中のあった場所から当時の愛商の地に全面的移転が強行された。この移転に就いては、当時、五中の教職員、先輩等挙げて激しい反対があったことは「六十年史」「八十年史」等に詳細に記述されているが、五中に4年～5年間学んだ者にとっては、まさに“痛恨の限り”であったと云わざるを得ない。五中の伝統を継承したこととなっているとは現在の瑞陵高校本館前には、「五中—瑞陵」の標示を揚げた嘗ての五中の象徴でもあった、「五中山」を形取ったミニチュアが設置され、卒業生・在校生達の五中の伝統、名誉、名声を誇りとし、県下を始め、全国的にもこの地域に存立する「歴史的伝統校」としての誇りと名声を挙げつつあること疑いもないと承知している処ではあるが、私達五中の卒業生にとっては、ここは「愛商であった」という違和感と無念さを卒業してほぼ70年の歳月を経た今も拭いきることが出来ず、それが、現在の瑞陵に対し、“これぞ、我が母校”という胸に湧きあがるような懐かしさと誇りを抱くことが出来ないでいる。

ところで、平成となって間もない頃(平成2年)、第2次世界大戦中、ヒトラードイツによる迫害を恐れようとしていたユダヤ人2600人余の脱出のための日本通過ビザを本国の強い意向に反し、調印・発行して救済した杉原千叡の「人

道的行為」が、その妻による「六千人の命のビザ」という著書や中日新聞社記者による「自由への逃走—杉原ビザとユダヤ人—」等の著書により、その主人公が、わが五中第6回の卒業生であることが初めてのように明らかとなり、杉原の“人道的行為”を顕彰する多彩な企画・事業等が、その出生地、岐阜県八百津町や小中学校を通して過ごした名古屋を中心に次々と実施されたことはよく知られているところでもあろう。

その後、平成27年12月の愛知県議会に於て、杉原顕彰の具体的計画として、母校瑞陵高校に顕彰記念建造物を設ける方針が知事により、その「功績や足跡を後世に伝えるにふさわしい顕彰のモニュメントのようなものを検討する考え」が示されたことと12月5日の中日新聞が大きく報じたことはご承知のことと思う。そして、その具体的概要は平成29年9月7日・8日の連続2日間にわたり、同じく中日新聞の報ずるところによれば、「平和への思いを深めることなどができる施設としたい。これら事業の予算措置として当初の4千百万に、追加整備費として6千4百万円の債務負担行為を提案、総事業費1億5百万とする」こと等も大きく報じられた。

この度、瑞陵高校創立110周年を機に愛知県当局を始め、関連自治体等が大々的に杉原顕彰事業を展開実施されることは、瑞陵関係者にとってこの上ない喜びとして歓迎するところでもある。

この稿を草している時点では、これらに関連する詳細は今後検討されることとは思うが、現在迄に公表されている顕彰関連建物等が、「杉原が実際に学んだ場所ではない」現瑞陵高地内に集中することになる。このことはややもすれば、今後、これらを訪れるであろう諸外国の人々を含め、国内の人々、更には、ここに学ぶ者達に対しても「歴史的事実から遊離したことになるのではないかと懸念せざるを得ない。

今後、杉原の顕彰関連施策が具体化する中で、我々五中に学んだ者としても是非「旧五中の地内」に「五中ここにありき」という象徴を設けたいと願うばかりである。

このことは、母校五中の伝統と誇りを、継承する瑞陵高が嘗て、愛商の跡に移転させられたということへの「慚愧の念」にも深々、長く根ざしていることでもある。

このような切なる願いについて、中村会長を始め瑞陵会役員会に於いても賛意を頂き、この7月初め、中村会長と私の連名で、主として五中卒業生に協力をお願いしたところ、現在90才を超える先輩、中には故人となられた遺族からもご協力を頂いているところである。さり乍ら、五中に学んだ同窓生達も80才半ばに達しており、記念碑建立の予算としては苦しいところでもある。

今後とも前述の瑞陵高校地の杉原の顕彰関連事業の推進・完成は願いながらも五中跡地の瑞穂が丘中地内に、「五中ありき」の「記念碑」を実現し、これを囲んで「五中校歌」を歌い、(既に計画予定されている他の顕彰施設等とも一体となって)過ぎし日の栄光ある歴史と伝統を偲び、又杉原先輩の功績を讃え、その他多くの諸先輩の業績を讃え、瑞陵高の発展を念じ、且つはここで学んだ瑞穂が丘中の卒業生、現に在籍の生徒や今後の卒業生達にもその胸に「歴史」が刻まれることを願うものである。

五中・瑞陵高校110周年記念 瑞陵会ゴルフ大会について

記念大会代表世話人 瑞陵会親睦委員長
木村 鍾 治 (瑞18回)

去る5月3日ゴールデンウィークの真ただ中、五中・瑞陵高校110周年記念瑞陵会ゴルフ大会を開催しました。瑞陵会としては恐らく初めての試みではないかと思えます。

記念ゴルフ大会の開催にあたっては、2年ほど前に瑞陵会本部佐合副会長から瑞陵会親睦会委員長である私に話があり、何度も会合を重ね今回の運びとなりました。

大会のためのゴルフ場選定にあたっては、青木様(瑞17回)のご尽力により、豊田市に在る名門「藤岡カントリークラブ」において実施することが出来ました。また、祝日にも関わらず、プレー費等も安価に抑えて頂いたことは世話人を代表して感謝申し上げる次第です。

大会当日は世話人一同が最も懸念した天候に恵まれ、五月晴れの中朝早くから多くの参加者が集い、開会式では殆ど全員が開会式に臨む状況となってしまいました。と言いますのは、今大会は参加者が多く最初にスタートする組と最後の組では1時間前後の差が生じるため、各人のスタート時間に合わせて集合する「さみだれ方式」を採ったのですが、記念大会ということもあり参加者皆さんの意気込みが感じられる開会式となりました。

参加される皆さんの精進のお陰もあるのでしょう、天候に恵まれた事は、既に90%近い成功を取めた様なもので幸運であったと思っています。



表彰式後の記念撮影の様子

参加者は全部で62名、16組(アウト8組、イン8組)、男性57名、女性5名、卒業期は5回から36回で32期(32年)に亘るものでした。その中に80歳以上の方が3名居られましたが18ホール50,000m以上をプレー(踏破?)されたことは驚きに値します。さらに、現職である新井忠校長先生及びお二人の先生方にご参加頂き大会を盛り上げて頂きましたこと厚く御礼申し上げます。

大会は午前8時30分からアウト、インに分かれてスタートし、午後3時過ぎ一人の怪我人もなく無事終了することが出来ました。この時点で世話人一同ほぼ100%の成功に安堵した次第です。プレー中は笑いと大声が絶えることなく、非常に明るく和やかに且つ楽しく行われたものと信じております。

また、表彰式に先立ち中村会長からご挨拶があり、今大会を弾みとして、10月に行われる110周年記念総会行事成功への意欲を述べられました。

◎競技結果の成績、第10位迄は表の通りです。

順位	氏名(敬称略)	卒業期
優勝	新井 忠	校長
準優勝	小森 敦夫	33
3位	足立 裕治	20
4位	加藤 正躬	17
5位	内藤 精史	20
6位	平野 研次	36
7位	栄 輝之	13
8位	斎藤 二郎	13
9位	岩野 哲郎	18
10位	木村 敏廣	20

競技はダブルペリア方式(隠しホール制)で実施、ネットが同じの場合はハンディの良い方から、次は年齢順で順位を決めております。

ベストグロス(最少スコア)の方はお二人おまして、栄輝之様(瑞13回)、天野清美様(瑞17回)でした。ちなみにスコアは「83」です。

因らずも新井校長先生が優勝されたことは結果として一番喜ぶことかもしれません。



なお、本大会開催にあたり多くの方々から商品の協賛を頂きました。ご芳名だけを掲載させていただきます。

瑞陵会、中村会長(瑞17回)

青木 様(瑞17回)、天野 様(瑞17回)

久田 様(瑞17回)、岡野 様(瑞18回)

安島 様(瑞18回生)、竹内 様(瑞18回)

青山 様(瑞29回)

誠に有難うございました。また、当日プレーをする事も無く、終日裏方として面倒を見て頂いた森重統様(瑞20回)、斎藤純司様に感謝申し上げたいと思います。

世話人一同(木村、青木、佐合、斎藤、森、柴田、青山、最能、武田)・・・深謝!

110周年という節目の年にこの様な心に残るイベントとして記念ゴルフ大会が行われたことは、瑞陵会の親睦・融和団結を図る上で時宜に適した最高の行事ではなかったかと感じ入る次第です。しいては10年後の120周年においても次期役員の方はご苦労とは思いますが、今回の記念ゴルフ大会が過去の単なるレジェンドとして終わること無く、何か心のレガシーとなる様な記憶に残る催し物を是非計画して頂けたらと思念しております。

最後になりますが、瑞陵会親睦会委員長として平成20年から約10年に亘、ゴルフ幹事を続けて参りましたが今回を契機に退くことを考えております。長い間親睦会のゴルフコンペにご参加頂き支えて頂いた方々にこの場をお借りして改めて感謝申し上げます。合掌!

ゴルフ大会は斎藤純司氏(瑞20回)が中心となり今後も継続されますので宜しくお願いいたします。

特集 瑞陵高校この10年

瑞陵会では、80周年（1987）に名古屋市公会堂（鶴舞）で記念式典とイベント（名古屋フィルハーモニー交響楽団演奏）、100周年（2007）に御園座（伏見）で記念式典とイベント（歌舞伎公演鑑賞）と20年ごとに大がかりな記念式典とイベントを行ってきた。また、その際にはそれぞれ記念誌を編纂してきた。五中-瑞陵創立110周年は、90周年（1997）の時と同様に校内での式典とイベントを行うことになり、「記念誌」は作成しないことになった。しかし、最近の10年間には瑞陵会や瑞陵高校にとって大きな変化があり、その間の記録を残しておく必要があり、「瑞陵会報」に「特集」として掲載することにした。

I 瑞陵高校の近況**教務から見たこの10年
（課題とその対応）**

全日制教頭 兵藤直人（瑞34回）

私は五中-瑞陵創立百周年を終えた翌年度の平成20年度から平成27年度の8年間、教務主任として教育課程の編成をはじめ教育計画の立案・実施・時間割の総合的調整、教科書・教材の取扱い等教務に関する業務に携わりました。教務的な視点から見た本校の課題とその対応についての取り組み等を百周年から現在までの10年間で振り返ってみたいと思います。

【百周年を迎えた頃の状況】**1 週2日7時限授業の実施**

完全学校週5日制の下で、ゆとりのある中で「生きる力」を育てることをねらいとした新学習指導要領が実施され（完全学校週5日制の実施は平成14年度～、高校の新学習指導要領の実施は平成15年度～）、大学入試に関しては、大多数の国公立大学が、学力低下を懸念した国立大学協会が出した提言に従い、平成16年度大学入試からセンター試験の受験科目をそれまでの5教科6科目から5教科7科目に変更しました。本校では、完全学校週5日制による授業時間数の減少と5教科7科目受験への対応策として、平成14年度から月曜日と水曜日の2日間7時限授業（週32時間授業）を実施しました。

2 コスモサイエンスコースの新設

愛知県の『県立高等学校再編整備計画』に基づいて、百周年を迎えた平成19年度に本校普通科にコース制が導入され、コスモサイエンスコースが1クラス新設されました。コスモサイエンスとは、コスモポリタン（国際人）とサイエンス（科学）の合成語で、国際的な視野をもった将来の科学技術開発を担う人材の育成をめざす理数コースです。新設当時は、難関大学の進学をめざす特進コースを導入している私立高校も多く見られたせいか、本校を志望する中学生やその保護者から特進コースと誤解されることも少なくありませんでした。しかし、現在では学校説明会や中学校訪問、ホームページ等でのコース活動の紹介を積極的に行うことで、コスモサイエンスコースがよく理解されるようになりました。

【百周年からの現在】**3 愛知スーパーハイスクール研究指定校**

平成20年度より3年間、愛知スーパーハイスクール研究指定校の指定を受け、コスモサイエンスコースを中心に「高大連携による体験プログラムを中心とした教育課程（自然科学教育）の研究開発」を行いました。この3年間で研究開発したプログラムが、現在のコスモサイエンスコースの教育活動の基盤になっています。

4 空調設備（エアコン）の設置

平成19年度にPTAが主体となって空調設備の設置に関するアンケートを保護者に実施し、その結果（大多数が賛成：主な賛成意見として、子供たちが少しでも快適な環境で学習できるようにしたい、健康上あるいは熱中症防止のためにも必要である等）、平成20年度に教室に空調設備が10年間のリース契約で設置されました（費用は保護者負担）。空調稼働期間は6月から9月で、夏季における学習環境が整備されました。

5 夏季休業日の短縮

生徒の学力向上を図るためには、十分な授業時間数の確保が大切になってきます。そのための方策として、平成21年度から長期休業日の活用で夏季休業日を3日短縮しています。その他、始業式の後に課題実力考査を実施したり、終業式の前に授業を何時間か実施する等の工夫をして授業時間数の確保に努めています。

6 2年次における科目選択の導入（普通科普通コース）

脱ゆとり教育とも呼ばれる戦後8度目の改訂の学習指導要領が平成21年3月に告示され、平成25年度から学年進行で実施されました（数学・理科については平成24年度から先行実施）。新学習指導要領では、知識や技能の習得と共に思考力・判断力・表現力等の育成を重視し、「言語活動の充実」等の学習内容の改善事項が示されました。その改善事項の一つに「理数教育の充実」があり、理科・数学の学習内容が増加し、特に理科において必修科目の構成やその標準単位数に変更がありました。そのため、新教育課程の編成については、現行教育課程から大きな見直しが必要になり、学校全体で何度も議論を重ねた結果、平成24年度入学生の教育課程から2年次の科目選択（数学・地理歴史）を導入しました。

7 夏季休業中の1・2年生特別講座の実施

1・2年生の時期に学習・進路に対する意識を持たせる

ための方策の一つとして、夏季休業の終わり1週間を学習週間として設定し、教室を自学自習室として開放し担当教員も配置し質問を受け付ける取り組みを平成23年度から実施しました。その後、生徒へのアンケート結果やPTAからの要望等を受けて検討した結果、平成25年度からは学習週間を廃止し、夏季休業の始まり1週間で希望者を対象とした実力養成を目的とする特別講座(国語・数学・英語)を実施することになりました。

8 文理選択の時期を3年次から2年次へ変更 (普通科普通コース)

平成24年度入学生の教育課程から導入した2年次の科目選択は、実質的な文理選択に近いものでしたが、より良い教育課程に改善するための検討を重ねた結果、平成26年度入学生から文理選択の時期を3年次から2年次に変更しました。

9 あいちSTEMハイスクール研究指定校

百十周年を迎えた今年度より3年間、あいちSTEMハイスクール研究指定校の指定を受け、「理工系大学等と連携してScience(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Mathematics(数学)の4分野に関する新たな教育課程の研究開発」を行います。現在、校内にSTEM推進委員会を立ち上げ、研究開発を進めています。

定時制この10年と現況

定時制教頭 石川 治志

定時制は近年、従来の勤労青少年のための学びの場としての役割だけでなく、多様な学習ニーズにも対応する役割が求められています。とりわけこの10年では、不登校・中途退学経験者への学び直しの機会提供、困難を抱える生徒の自立支援の面でも大きく期待されるようになってきました。また、年々増加している外国籍の生徒や発達障害等の特別な支援を必要とする生徒への対応も重要な課題となっています。そして生徒数の面では、平成25年度には学級減(1学年1学級40名募集)となり、平成28年度において、いわゆる単級校(全学年1学級)となりました。

このような状況のなかで本校定時制では、基礎・基本から学べる落ち着いた授業を展開する一方で「学校行事」を充実させ、生徒が学校への帰属意識を高め、学校生活に前向きに取り組めるような教育活動を行っています。また、通信制高校との併修や高等学校卒業程度認定試験の合格により、3年で卒業することもでき、生徒たちの多様なニーズに応えています。

さて、愛知県下34校ある定時制通信制の高校では、毎年、「生徒生活体験発表会」に参加します。本校では、学校行事として7月上旬に校内予選を兼ねて校内生徒生活体験発表会を行います。単に代表生徒を決めることだけを目的とせず、生徒全員が作文を書き、自分自身の過去の振り返り、見つめ直し、そして将来を真剣に考える時間をつくるという意味でも、学校として大切な位置付けの行事となってい

ます。最近の代表生徒の県大会での成績は、平成26年度、28年度において「早川賞」(第7・8位)を受賞しました。この「早川賞」は、元愛知県立瑞陵高等学校教頭の早川恒良先生が昭和55年に中日教育賞を受賞された際、その副賞を寄付され、それを記念して設立されたものです。

定時制最大の学校行事は、「瑞定祭」と呼ばれる学校祭で3日間開催されます。前半の2日間はステージ発表、最終日は感喜堂において、バザーが行われます。生徒会が中心となり企画運営をする中で時間をかけてじっくり練習に取り組み、ステージ発表では、歌、ダンス、演劇、創作ビデオ発表、PTAコーラスなどが行われます。最近では、落語に挑戦した生徒もいて、最優秀賞を獲得しました。また、バザーは、各クラス単位で食品を販売・提供し、ビンゴゲームを行いながら生徒、教職員、PTAの方々と食事をします。飲食店でアルバイトをしている生徒も多く、包丁さばき、調理などはプロ顔負けというクラスもあります。また、PTA喫茶として保護者の方にも参加していただき、お茶やケーキが提供され、バザーの盛り上がりには花を添えています。

「修学旅行」は3年生で実施されます。旅行先は平成16年度からのグアムを平成22年度で終了し、平成23年度からは平和学習を主な目的に沖縄に出かけています。ほとんどの生徒にとって初めての飛行機であり、沖縄に触れる貴重な体験となります。平和学習を中心とした沖縄修学旅行は、自らを見つめ直し、自らを客観的にとらえる非常に意義深い機会となっています。

生徒の卒業後の進路は、大学・短大・専門学校への進学、就職、在学中からの仕事を継続する生徒など多様な状況となっています。また、平成27年度は名古屋経済大学、平成28年度は中部大学、至学館大学に合格するなど、大学進学を志望し合格する生徒も年々少しずつ増えてきました。

生徒たちの中には、人間関係をうまくつくることできない、人とのコミュニケーションをうまくとることができないなど、さまざまな理由でやむを得ず進路変更をする生徒もいます。しかし、定時制で自信を取り戻し、その後落ち着いて生活できるようになった生徒も多くいます。

今後とも、定時制で学ぶ生徒一人一人の自己実現に向け、家庭や地域、関係機関等と連携を一層深め、私ども教職員が一丸となり生徒を温かく指導していきたいと思いを。



瑞定祭でのバザー(感喜堂)

コスモサイエンスコース 設置10年を迎えて

教諭 西森 俊之

コスモサイエンスコース（瑞陵コスモ）は平成19年度から普通科に設置され、お陰様で昨年10周年を迎えることができました。誠にありがとうございます。

瑞陵コスモは、「実験、実習を通して、比較的高度な理科的・数学的な見方・考え方を学ぶとともに科学的素養を身につけ、国際的視野をもった将来の科学技術開発を担う人材を育成する」ことを目的としてスタートしました。

(1) 瑞陵コスモのスタイル確立

翌平成20年度から3年間、愛知スーパーハイスクール研究校の指定を受け、高大連携による体験的なプログラムを中心としたカリキュラム開発を行いました。これにより、講座内容と瑞陵高校の教育目標である自由・自主・自律に沿った独自の展開スタイルが確立されました。

講座では高大連携授業を積極的に取り入れ、実習・実験を中心に、1年生は生物学、2年生は物理学・化学、そして集大成の3年生は物理・化学・生物となっており、3年間で約30の講座を展開しています。



1年生 荒磯松海岸 磯の生物観察



1年生 瑞浪サイエンスワールド



2年生 ロボット制御



2年生 核融合科学研究所



3年生 特別授業 化学
(サイエンスライター 佐藤健太郎先生)



3年生 特別授業 物理
(名古屋大学 辻義之先生)

また、1つのテーマに固執することなく、多くの自然科学分野を展開しています。

更には、原則通常授業の時間帯にのみ活動し、他の生徒と同様に部活動に参加できるようになっています。

(2) 講座は絶えず変化します

多くの自然科学分野を学習するという講座展開の基本スタイルは、瑞陵高校に適したもので、設置当初から今でも変わりはありません。しかしながら、講座内容については、面白さ、生徒の様子、アンケート結果、そしてカリキュラ

ムの変化に応じて、改善を繰り返してきました。例えば、生徒の反応を参考に講師と一緒に講座展開を考えたり、講座の内容や生徒の反応が芳しくない場合は、新たな講座との入れ替えを行ってきました。2年生で行っている約10講座のうち、5年前から継続しているのは3講座のみであり、その3講座も改善を繰り返しています。

(3) ピンチ・・・コスモ独自の活動時間が減少

平成26年度入学生から、カリキュラムの変更に伴いコスモ独自の活動ができる時間が週2時間から1時間に減ることになりました。講座の厳選と講座で求めるものを考え直すことに迫られました。コスモの講座でしか得られない、大切にすべき最大のものは何か。「人や知識との出会い」と考えました。「あんな人になりたい」「こんなことを勉強したい」と感動できる機会を第1に考えました。時間は半減しましたが、今でも講座数はほとんど変えず実施しています。

(4) 感動できる生徒が育っています

「人や知識との出会い」ができた証が「感動」だと思います。「感動」できたら「質問できる」はずです。日頃から生徒には、質問できるようにと伝えています。生徒もそれに応えてくれ、外部講師による講座の後には質問が絶えないことがよくあります。嬉しく感じます。実際、瑞陵コスモの生徒に対する講師の評価も非常に高く、頼もしくも感じます。

(5) これからの瑞陵コスモ

大学入試改革（平成32年度卒業生から）および学習指導要領の改訂（平成34年度入学生から）があります。主体的な学びの姿勢を育む講座が求められます。しかし、コスモ独自の講座にのみ求められるものはこれまでと変わらないと考えています。「自然科学を通じた、人や知識との出会い」を提供することです。そのためには、教員が常に生徒をインスパイアできるより魅力的な講座を探求することが必要です。更には、生徒がその出会いに気付き、感動できるように自然科学の見方・考え方を伝えていく必要もあると考えています。



名古屋大学 研究室見学



名古屋大学
広報 蛭川さんとの出会い
(異色の経歴)

また、本年度から3年間、新たにあいちSTEMハイスクール研究校に指定されました。STEMとはScience、Technology、Engineering、Mathematicsの頭文字をとったものです。「STEM分野における発展的な学習を通して、科学技術分野に対する興味・関心の喚起、科学技術に関する幅広い知識および科学的思考の習得、そして進路意識の高揚へとつながる指導方法と教材の開発」という研究を通して、これまで以上に生徒が主体的に活動に参加し、感動でき、生徒の将来に対する視野を広げることができる講座の展開ができればと考えています。

「コスモサイエンスって何だ？」

旧職員（初代コース主任） 白井俊哉

平成19年4月に瑞陵高校にコスモサイエンスコースが新設されました。当時の記録を見ると、コスモサイエンスコースの新設に向けて、平成18年3月14日に第1回理数コースプロジェクト会議を開いています。

コスモサイエンスコースは、愛知県の県立高等学校第2期再編整備実施計画における、「従来の科目の枠を越えた、比較的高度な学習等を行う」普通科コースを設置するという方針に添ったものでした。この実施計画によると、設置する新たなコースの内容は「実験・実習等を通して、比較的高度な理科的数学的な見方・考え方を学ぶとともに、科学的素養を身につけ、将来の科学技術開発を担う人材を育成する。」ということになっていました。その理数系コースの名称が「コスモサイエンスコース」だったのです。プロジェクト会議に参加した私達の最初の疑問は、「コスモサイエンス」とはどんなサイエンスなんだ？受験しようとする中学生にはコスモサイエンスの中身がイメージできるのだろうか？こんな意味不明な名称を誰が考えたんだ？というものでした。

ともあれ、新しい理数系のコースとして、コース専門科目を3年間で15単位設定することになっていました。そこで、平成17年度末（平成18年2月～3月）に、近県の理数科を設置している高校〔三重県立伊勢高校、岐阜県立加茂高校、静岡県立磐田南高校など〕を訪問・見学し参考することから始めました。

現在の瑞陵高校は科目選択制を経て、2年生から文系・理系の類型選択制になっていますが、当時は2年生まで普通科として全員がまったく同じカリキュラムを履修していました。幅広い知識を身につけることが将来の学問的理解に生かされるのだと、多くの職員が考えていました。また、そんな瑞陵のカリキュラムの良さが大学に入ってよく分かったという卒業生も多くいました。しかし、将来理系の大学に進学し研究者を目指したいというような生徒にとって、理数系の単位が足りないことも確かでした。高校入学時から理系への進路がはっきり固まっている生徒にとって、高校時代から高度な内容に触れられ、自然科学の真の面白さを知ることができるコースにしたいという気持ちで、校外学習やサイエンス講座を含むカリキュラム策定やコスモサイエンスルームの整備等を、平成18年度の1年間で進めていきました。そして、様々な不安と期待のうちに、平成19年4月に個性豊かな40名のコスモサイエンスコース1期生を迎えることができました。

今では、国際人（コスモポリタン）と科学（サイエンス）を合わせた造語＝コスモサイエンスという名称も定着し、その成果が年々上がっていると聞いています。今後の瑞陵高校コスモサイエンスコースのさらなる発展を願っています。

コスモサイエンスコースの
特別講座について

旧職員 樋口英次

遡ること、平成15年に県教委から次年度のスーパー・サイエンス・ハイスクール（SSH）の応募について照会があり、関係の教員でそのプログラム案の策定をしました。この応募は叶えられず、平成16年度に応募ということになりましたが、校内事情で応募は見送られました。

平成17年に県教委から平成19年度からのコスモサイエンスコースの開設の旨の連絡があり、早速そのプログラム案を作成しました。このとき、平成15年、平成16年のSSHの案が参考になりました。その案は、「実験・観察」から「物作り」のきっかけをつかみ、「最先端の科学」の流れを知り、各分野トップレベルの方々「考え方」を聞くことから自分の将来の方向性を見つける。このような主旨で考えられ、それをプログラムとして具体化しました。

このコスモサイエンスコースの誕生を祝福し、同窓会からはその成果を還元すべく「全校生徒にノーベル賞級の科学者からお話を聞く」機会を作るよう依頼がありました。そこで、コスモ授業の講師、名城大学の四方義啓特任教授のご縁をお借りし、物理学者で俳人でもある有馬朗人元東大総長・文部大臣に、講演していただくことになりました。有馬朗人先生のご講義とJAXAの研究員の実験により、物理学、取り分けエネルギーの分野のお話を伺いました。

特別講座の第2回は、名古屋大学名誉教授・ノーベル賞受賞・益川敏英先生にお願いできました。名古屋大学の野依記念館を使わせていただき、研究成果をわかりやすく話していただきました。また、先生の勉強に対する考え方も伺うことができました。

第3回は、生物分野の最先端の研究分野の講座として、「LEDを利用した野菜の栽培」の講座を、玉川大学教授・渡邊博之先生にお願いしました。テレビ番組、海外講演などでご多忙の中ご講演していただきました。NASAからのオファーを断った理由など、先生の人生に対する考え方も伺うことができました。

第4回は、東京工業大学・お茶の水大学・埼玉大学を中心に活躍されている、サイエンスライター・青山聖子先生にご講演をお願いしました。生命体のエントロピーのお話や、化学科から生物科に転身した理由など、丁寧なお話しぶりで生徒にもよく理解できたと思っています。

2回以降は、コスモサイエンスコースの生徒だけが対象となったことが残念ではありますが、物理分野のみならず生物分野・化学分野など、いろいろな方向性を模索しながら、生徒にとって最良の講座が開けるように努力し、現在に引き継いでいます。

<p>司法書士グリーンフォーラム</p> <p>司法書士 林 勝 博 (瑞19回)</p> <p>〒458-0036 名古屋市中区六田一丁目200番地 TEL.052-624-1885 FAX.052-621-1384</p>	<p>施設管理支援・情報管理支援・文化財事業 ナカシャクリエイティブ株式会社</p> <p>代表取締役社長 山 口 寛 (瑞37回)</p> <p>〒468-8533 名古屋市天白区井の森町205 TEL.052-895-1131 FAX.052-895-1844 http://www.nakashaco.jp</p>	<p>佐久間医院</p> <p>院 長 佐久間 修 三 (瑞19回)</p> <p>〒464-0811 名古屋市中種区朝岡町2-1 TEL/FAX.052-781-0430</p>
--	---	---

コスモ1期生として

コスモ1期生 近藤 まり (瑞62回)



2017.03 ローマ コロッセオにて

私は2007年、普通科コスモサイエンスコース（以下、コスモ）の一期生として瑞陵高校に入学した。一期生ということで前例がないこと、3年間クラス替えがないこともあり、願書提出の際にはコスモを希望するか否か相当悩んだ覚えがある。しかし、その不安以上に魅力的なカリキュラムと研究者への憧れがあったため希望した。コスモでは校外学習、外部講師を招いての特別授業の機会が豊富に用意されていた。初めての校外学習であったためか、荒磯松海岸生物観察は今でも鮮明に記憶に残っている。天気は生憎の曇り空であったが、磯に出ての生物観察はとても興味深いものだった。また、廣瀬清市瑞陵高校奨学事業（以下、奨学事業）では海外派遣や大学、研究機関での研修等、自発的な学びに対し補助を頂くことができ、こうした多くの機会の中で各々が自身の興味関心事を発見し、見つめることができたと思う。

私は奨学事業を利用させて頂き、サイエンスキャンプ、知と技の探究教育推進事業に参加した。前者では夏休みを利用し、農研機構（旧生物研）にて分子生物学、遺伝子工学を、後者では土日を利用し、材料工学を学んだ。正直のところ、理解が追いつかない部分もあったが、これらの学びと通常の授業を通し、自身の興味が身の回りのものではなく、自分自身に向いていることに気づくことができた。こうして、学士課程、修士課程と生物学分野（農学系）へ進むこととなった。その道中で迷いが出た時、辛い時、支

えとなったのは高校で出会った仲間や恩師の言葉であり、特に「好きなことを追い続けなさい」、「自分の頭で稼ぎなさい」この2つの言葉は道標になった。学士課程で研究の面白さを知り、最先端の研究を味わいたくなったため、背伸びをして東京大学大学院修士課程へ入学した。不思議な縁あって、大学院ではサイエンスキャンプでお世話になったカイコ機能改変技術開発ユニットで「カイコを哺乳類の代替モデルとして利用できるか」をテーマに修士研究を行った。そして、研究生生活を通し、1つのことを突き詰める愉しさと辛さを学んだ。卒業時にはテーマが良かったこと、研究環境に恵まれたことが幸いし、奨励賞と学費の免除を頂くことができた。自分よりも遥かに能力の高い人々の中において、自分の枠にとらわれず、やるからには成果を残したいと思えたのは、高校時代に挑戦する楽しみを知ったからだと思う。修士課程卒業後、研究職に進むか他の道を選ぶか非常に悩んだが、今まで経験していないことをやってみたい、もっと出口に近いところで活躍したいという思いから民間企業の総合職として働いている。

コスモ一期生は落ち着きがないといわれる一方、最も瑞陵生らしいという声も聞かれた。あまりに個々人の個性が強く表れたクラスだったため、当時はまとまりがなく、それぞれが全く異なる方向を向いている様に見えた。しかし、卒業して時が経つにつれ、実は自分らしさが素直に現れた、似た者同士の集まりだったと感じるようになった。自分に正直に、夢を大切にしている人が多く、博士を志す者、医学の道に進んだ者、教員になった者、記念祭では上手いかなかったプラネタリウムを職業にしている者などそれぞれが思い思いの道へと進んでいった。

私たちの卒業式で、PTA代表の方の「みなさん、ご結婚おめでとうございます。」との挨拶にくすりと笑ったことも懐かしく、入学から10年、ちらほら吉報を聞く機会が増える年齢になってきた。高校時代から卒業後も続くコスモ会は今年、この会報が刊行される頃に開催予定である。この先幾つ歳を重ねても、瑞陵高校で出会った仲間との繋がり、思い出を大切にしていきたいものである。

末筆ながら、瑞陵高校110年という大きな節目に執筆の機会をくださった森重統先生ならびに諸先生方に厚く御礼を申し上げる。

<p>知的財産権に関する エール国際特許事務所</p> <p>代表パートナー 弁理士 間瀬 銈一郎 (瑞11回)</p> <p>〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-22-7 丸の内OSビル4F TEL.052-959-4520 FAX.052-959-4522</p>	<p>菓子製造販売 名古屋フランスcorp(株)</p> <p>会 長 服 部 幸 三 (瑞14回)</p> <p>〒470-0112 愛知県日進市藤枝町西外面16 TEL.0561-73-4600 FAX.0561-75-4545 http://www.nagoyafrance.co.jp</p>	<p>アワタ 栗田敬八税理士事務所</p> <p>所 長 栗 田 敬 八 (瑞19回)</p> <p>〒454-0911 名古屋市中川区野田1-193 TEL.052-351-0251 FAX.052-352-8268</p>
--	---	--

II 瑞陵会および卒業生の支援事業

五中－瑞陵百周年記念事業

2007年10月26日に御園座において、在校生と卒業生が参加して記念式典と歌舞伎鑑賞（第43回吉例顔見世 故市川團十郎丈）が行われた。また、百周年記念事業としてポプラシート事業（歌舞伎鑑賞 希望高校生を年間100名を招待）が実施され、2016年まで10年間、生徒延べ約1000名が参加した。

廣瀬清市瑞陵高校奨学事業も百周年記念事業の協賛事業として開始された。

ポプラシート事業

「ポプラシート」の10年

教諭 梶野玲子（卒業生）

昨年度まで実施していた「高校生対象の歌舞伎ご招待席」であるポプラシートができた経緯は10年以上前の100周年の記念事業の実行委員会にさかのぼります。

記念式典はどこで何をするかという話し合いの時、同窓会の濱田堯さんが、「御園座を借り切って式典をやり、その後歌舞伎鑑賞をやったらどうか」という夢のような提案をされたのが始まりです。そしてそれが見事実現し、成功裡に終わりました。「このような企画の発想も、本当にやれてしまったことも、いかにも瑞陵らしい」と、その頃職員や周りの人たちがびっくりし感心していたのを覚えています。当日は、市川團十郎さん、海老蔵さん親子共演の豪華演目、また式典では團十郎さんが壇上でお祝いの言葉をくださり、男子生徒の素直でストレートな質問に、実に素敵に答えていただいたことも忘れられません。そして何より、行事のあとクラスで書かせた感想文に、「歌舞伎が想像していたより断然面白かった」「本当にいい体験をして幸せだった。100年の伝統と重みを受け継ぎたいと思った」と異口同音に書いてあったのが嬉しかったです。

その100周年記念事業の準備を進める中で、実行委員の方々の間で「高校生に日本の文化の素晴らしさを知って貰いたい」「将来海外の人たちと関わっていくときに歌舞伎を語れる人にならないといけない」という話になり、「これを機会に、御園座の春と秋の歌舞伎に100周年にちなみ、100人の学生（年2回、50人ずつ計100人）を今後10年間招待しようではないか」という、これまた贅沢な夢のような提案がなされたのです。財政的裏付けがない中、前同窓会高木会長のご英断によりそれが実現の運びとなりました。若者に歌舞伎を知ってもらいたいという御園座社長の長谷川さんの思いとも一致し、他ではまず見られない「ポプラシート」の誕生でした。

県内の高校生への募集は、御園座が公演の新聞広告を出す際に、次のように掲載して下さいました。「五中－瑞陵高校創立百周年記念ポプラシートのご提供。高校生の皆さんに日本の伝統である歌舞伎を鑑賞してもらい、歌舞伎のすばらしさ、伝統芸能の重さを肌で感じていただく企画です。愛知県下の高校生および留学生の皆さんのご応募をお待ちしています。」ある年の公演の受け付けをしていたら、

「高校生の孫がおじいちゃんに歌舞伎をみてほしいと応募してくれたんです」とにこにこしながら当選の案内を持って男性がいらしたことがあり、どうしたらよいものかと困ってしまったエピソードもありました。

5年前、御園座が改修工事のため閉館し、歌舞伎公演は、日本特殊陶業市民会館で秋だけ開催されることになりました。せっかくのポプラシートが年1回になるのが残念だったのですが、濱島誠一朗事業で生徒を京都大学へ連れて行く時にいつも、南座をバスの中から案内していたことを思い出し、あとの1回はここでやれないかと考えたのが「濱島事業・ポプラシート合同企画」でした。濱島さんと同窓会のポプラシートの係の濱田さんに相談したところ快く承諾していただいたので、京都南座との交渉に入りました。団体の座席数が限られているので難しいという返事だったのですが、ポプラシートのこと、濱島事業でそれまで行った企画のことも話しながら、高校生に本物を見せる体験をさせたいのですねとお願いし、やっと30名を受け入れてもらいました。京都の人たちも心待ちにしている年末の年中行事である「吉例顔見世興行」を、日本最古の歴史を持つ南座で鑑賞するというのは独特の雰囲気があります。この時の時間・空間・空気は演目の内容とともに生徒の心にずっと残ることでしょう。公演後は生徒の感想文集を南座へ送るなどして、2年目からはスムーズに継続させてもらうことが出来ました。



ここで100周年の時と、ポプラシート（御園座、南座）での鑑賞後の生徒たちの感想を箇条書きにして少しだけ紹介してみます。

- 正直言ってあそこまで面白いとは思わなかった。歌舞伎をなめていた。
- 女役も男がするなんて知らなかった。女形の人は本当に女っぽくて優雅だった。
- 始めはなぜ百周年で歌舞伎かと思ったが、今では歌舞伎でよかったと思う。貴重な体験だった。
- 演劇・ミュージカルとは違う独特の口調、音、歌が印象的だった。衣装・背景の色もきれいですごい。
- 役者さんが美しい。手の動き、首、足、体の動き、指先から表情、すべてにしなやかさや強さがあった。
- 小説で知って以来、南座は私の憧れの場所だった。今日は大切に記憶したい目になった。
- 生で見て初めて、歌舞伎がここまで何百年も愛されている理由が分かった気がした。
- 自分では絶対に行くことはなかったので良い経験をさせてもらった。高いけどいつか自分のお金で行く。

- 中学の音楽で歌舞伎の授業を受けた時からずっと、人生で一回は歌舞伎を見てみたいと思っていた。
 - 役者の動き、言葉、ちょっとした仕草から場面を読み取ることができた。歌舞伎が大好きになった。
 - 日本の文化を世界に広めるため応募。日本人である私が胸を張って日本人として生きたいから参加した。
 - 思わず笑ってしまう仕草、会話…江戸でも現在でも面白いと思うものは一緒だと感慨深かった。
 - 本やテレビではなく、五感を使って歌舞伎を見たので私は歌舞伎について語れる。
 - お茶漬けのパッケージで見慣れているあの柄の幕を見て、歌舞伎鑑賞の緊張が少しほぐれた。
 - イヤホンガイドの助けを借りて、笑ったり怖くなったり泣いたり話に引き込まれた。
 - 大人になって内面的な考えも理解でき、もっと深く楽しめるようになったら、今度は花道の近くで見る。
- ポプラシートがなかったら見ることもなかったかもしれない1000人近くの高校生が、先輩のおかげで歌舞伎を体験することが出来ました。絵画や工芸品についても言えますが、「聞いたり、本で見たことがあるだけ」と、「実際本物を見た」の差異は測り知れません。生徒たちの感性は柔らかく、素敵です。意識していてもしていなくてもきっと彼らの心の中に“美しい”の感覚が宿り、これからの人生の色々な場面を彩り豊かにしていくと思います。
- 「本物を見て感じて、無形の宝を心に残して貰いたい」という思いを持ってポプラシートの係をやってきましたが、勉強や部活動で忙しい生徒たちなので、なかなか50人を集められず、苦勞したこともありました。でも実際参加してみれば彼らは毎回期待以上のものを得て、その感想を寄せてくれます。同窓会の方々のおかげで“本物に触れる機会”がどこの学校より多い瑞陵高校です。生徒たちにはそんな機会をいっぱい利用して“幸せに生きていく力”を養ってほしいといつも願っています。

記録

2007年

- 4月14日(土) 御園座「陽春花形歌舞伎」(50名)
- 10月8日(月) 御園座「吉例顔見世」(50名)

2008年

- 4月19日(土) 御園座「陽春大歌舞伎」(50名)
- 10月4日(土) 御園座「吉例顔見世」(50名)

2009年

- 4月18日(土) 御園座「陽春花形歌舞伎」(50名)
- 10月3日(土) 御園座「吉例顔見世」(50名)

2010年

- 5月22日(土) 御園座「五月花形歌舞伎」(50名)
- 10月2日(土) 御園座「吉例顔見世」(50名)

2011年

- 2月5日(土) 御園座「二月大歌舞伎」(50名)
- 10月1日(土) 御園座「吉例顔見世」(50名)

2012年

- 6月9日(土) 御園座「六月大歌舞伎」(50名)

2013年

- 3月2日(土) 御園座「三月大歌舞伎」(50名)
- 10月12日(土) 市民会館「錦秋顔見世」(50名)
- 12月7日(土) 京都南座「吉例顔見世」(30名)

2014年

- 10月18日(土) 市民会館「錦秋顔見世」(50名)
- 12月7日(日) 京都南座「吉例顔見世」(30名)

2015年

- 10月17日(土) 市民会館「錦秋顔見世」(50名)
- 12月20日(土) 京都南座「吉例顔見世」(30名)

2016年

- 10月23日(土) 市民会館「錦秋顔見世」(50名)
- 12月10日(土) 歌舞練場「吉例顔見世」(30名)

廣瀬清市瑞陵高校奨学事業

瑞陵高校開校から57年間にわたって校医を務められた廣瀬清市氏(五中24回)の出資により行われた事業。廣瀬清市瑞陵高校奨学事業委員会によって2005年から2011年までの7年間に海外への生徒派遣事業や生徒の自主研究への補助などが実施された。生徒の海外派遣は、中部国際空港までの旅費のみ生徒負担という形で行われ、瑞陵会からの団長と教員2名が引率した。海外派遣が注目されることが多いが、生徒対象の研究助成事業も平行して行われた。研究助成Aは生徒個人の研究を支援、研究助成Bは生徒の研究会などへの旅費などの補助、研究助成Cは教員の企画した生徒対象の国内ツアーが中心であった。

廣瀬清市氏は2007年に亡くなられたが、後半は濱島誠一郎氏の支援も得て「濱島誠一郎生徒奨学事業」に引き継がれた。



廣瀬清市先生 廣瀬医院閉院の日に(2006.10.31)

記録 数字は事業番号

2005年

- 1 7.22-29 オーストラリア派遣(18名)
- 2 平成17年度研究助成 研究助成A 4件 研究助成B 13件 研究助成C 「愛・地球博」入場券556件

2006年

- 3 7.22-29 リトアニア・ポーランド派遣(14名)
- 4 7.23-30 アメリカ派遣(16名)
- 5 平成18年度研究助成 研究助成A 8件 研究助成B 3件 研究助成C 7.8杉原千畝記念館・人道の丘公園 10.7福井県立恐竜博物館・中竜鉱山
- 6 12.23 ドイツ派遣(18名)

2007年

- 7 7.22-29 リトアニア・ポーランド派遣(15名)

- 8 7.22-30 イギリス (スコットランド) 派遣 (16名)
 9 平成19年度研究助成 研究助成A 2件 研究助成B 16件 研究助成C 7.7杉原千敏記念館・人道の丘公園 7.14名古屋博物館 10.6名古屋博物館 (城下町名古屋) 11.10奈良正倉院展 12.8京都大学博物館 12.20名古屋博物館 (トルコ・イスタンブール展)
 10 12.22-28 ドイツ・チェコ派遣 (16名)
 2008年
 11 7.20-28 ハワイ派遣 (14名)
 12 平成20年度研究助成 研究助成A 1件 研究助成B 19件 研究助成C 6.14野辺山電波望遠鏡・八ヶ岳総合博物館 10.26奈良正倉院展・唐招提寺 3.7琵琶湖博物館・比叡山延暦寺
 13 12.25-30 マレーシア・シンガポール派遣 (14名)
 2009年
 14 7.24-30 アメリカ西海岸派遣 (14名)
 15 平成21年度研究助成 6.6根尾谷断層と徳山ダム 8.19奈良国立博物館
 16 12.24-30 ベトナム・カンボジア派遣 (15名)
 2010年
 17 7.22-31 フランス派遣 (14名)
 18 12.22-31 ニュージーランド派遣 (14名)
 2011年
 19 3.24-25 研究助成 関西派遣 (25名)
 ※東日本大震災で関東方面の予定を変更して実施



オーストラリア派遣 (前列左から3番目が中島さん)

海外派遣事業に参加して

中島史恵 (瑞60回)

私は、高校初めての夏休みに第1回海外派遣事業であるオーストラリア派遣に参加しました。オーストラリアが「人種のるつぼ」と表現されるように、現地は多様な文化であふれており、互いに文化を理解し、尊重しあうことが様々なバックグラウンドを持つ人々と生きる上で大切であることを学びました。また、オーストラリアには多様かつ独特な生態系があり、教科書でしか見たことのないような大きなアリ塚に驚いたこと、さらには、エアーズロックから見た地平線まで続く大地にとっても感動したことは今でも忘れられない思い出です。

高校に入学したばかりだった当時の私は、電車通学をはじめたばかりで、中学時代と比べて行動範囲も広がり、自分の世界がとても広くなったように思っていました。しかし、派遣に参加して、自分がいかにちっぽけで、世界は想像するよりもはるかに広くて知らないことばかりだと感じました。現在、私は大学で研究を行っていますが、研究を進める上では海外の研究者と共同研究を行うこともあり、オーストラリア派遣で学んだ「相手の文化を理解・尊重する」という姿勢が仕事を進める上で何よりも大切であるということを日々実感しています。高校という多感な時期に派遣事業に参加させていただき得た素晴らしい経験は、現在の私の考え方に大きく影響を与えていると思います。このような機会を与えて頂いた廣瀬先生はじめ同窓会の皆様に心から感謝しています。また今後は卒業生として、在校生を支援する立場として力になればと思います。

私の原点

水谷奈央 (瑞61回)

私は現在ジュエリーデザイナーをしています。デザイナーは発想力のもとより根気もいる意外と地道な仕事です。アイデア出しは自分自身との対峙ですが、実際に一つのもので完成するまでには職人さんや販売員、様々な人と関わり合いながら詰めていきます。ものづくりをするには持っている技術だけではなく、伝える力やコミュニケーション能力がとても大切だと実感しています。

高校一年のとき、廣瀬清市先生の海外派遣でドイツに行かせて頂きました。出発前、空港で廣瀬清市先生がおっしゃった「本物を見て感じてくるように」という言葉に押されて訪れた、芸術の都ドレスデンのパロック建築と美しい町並みは圧巻でした。ドイツで最も古くから伝わる本場のクリスマスマーケットや教会でのミサ、その厳かな雰囲気を感じた、あの時の感動を今でもよく覚えています。16歳という感性豊かな時期に貴重な体験をさせて頂いたことに本当に感謝しています。また世界最大のパズルといわれ、再建を果たした聖母教会も感慨深いものがありました。第二次世界大戦の爆撃により瓦礫と化した教会でしたが、人々の思いと最新技術により、元の資材を元の位置に戻し、その美しい姿を見事に蘇らせたのです。ドイツ人の自国の文化に誇りを持ち、心豊かに生きている姿は、とても眩しく心を揺さぶられました。この経験は私の原点であり、その後の人生を左右するきっかけとなりました。

日本の古き良き伝統を学びたいと思い、大学では工芸科の彫金を専攻し、日本の伝統技法を活かしてジュエリーを制作していました。どうしたら自分の世界観を表現できるのかと、試行錯誤の日々でしたが、数多くのすばらしい出会いがあり、私は支えられてきたように思います。

瑞陵高校は部活動がとても盛んで、テニス部に所属し熱き恩師のもと、体力と根性を鍛えて頂き、かけがえのない親友に巡り会うこともできました。テニスの試合での自分の弱点と、ものづくりをする上で、ぶち当たる壁には共通するものがあり、面白いものだなあと気づかされます。

大学時代を振り返り、そして社会人となって、つくづく瑞陵高校の3年間で得た幅広い知識と、自主自律の校風の中で育んだ「自分で考え抜く力」一生きていく上でもっとも大切なもの—がベースとなって役に立っていると感じています。今はまだまだ模索の日々ですが、今まで学んできたことを糧として、好奇心を忘れず進んでいきたいと思っています。

〔略歴〕

- 2010年 東京藝術大学工芸科入学
- 2014年 第28回日本ジュエリーアート展大賞
ジュエリーデザインアワード2014 新人大賞
東京藝術大学原田賞 安宅賞
- 2016年 東京藝術大学大学院美術研究科修了



高校一年ドイツ海外派遣（右から3番目）



第28回日本ジュエリーアート展 大賞受賞作品「幸せの結晶」

挑戦してごらん

河合文佳（瑞63回）

私が廣瀬事業の海外派遣（第14回事業7月 アメリカ西海岸派遣）に参加したのは、もう8年前のことになります。高校2年生だった自分が書いた、「百聞は一見に如かず」という題の感想文を久しぶりに読み返してみると、初めての海外で得た経験や驚きが鮮明に記されていました。

私が廣瀬事業で得たものは何だったのか。小学校教師になった今、振り返ってみると、それは、学びへの貪欲さと行動力だと思います。

幼いころから、ずっと英会話を習っていた自分は、多少なりとも英語に自信がある状態でアメリカへ行きましたが、初めての本場の英語に全く歯が立たず、悔しい思いをしました。「もっと勉強しないと、私の英語は使えないんだ。」そう実感できたことで、その後の英語の勉強に熱心に取り組むことができ、英会話の先生には、「文佳はサンフランシスコに行ってからぐんと伸びたね。」と言われるほど上達しました。また、文化の違いや国民性の違いを目の当たりにし、自分は何も知らない、文字通りの「井の中の蛙」だったことを思い知らされました。もっともっと知りたい。知ったことは人に伝えたい。そう感じたことが教師への道にもつながったのかもしれませんが。知らなかったことを知るとは面白い、と学校の授業もより楽しく感じるように

なったことを覚えています。

アメリカへの海外派遣で世界を知る面白さを感じた私は、大学に入り、イギリスへ一人短期留学に行きました。一人で海外へ行くという冒険をすることができたのは、海外へ行ったことがある、という経験を積ませてもらったからです。実際の海外派遣では、先生や添乗員さん、ガイドさんにおんぶにだっこでしたが、海外派遣の経験が自信と行動力につながったと思います。

今、私は、日本だけではなく、海外のことも話せる広い視野をもった教員になりたいと思いつつ日々を過ごしています。子どものころ、先生たちの海外旅行の話を目を輝かしながら聞いた自身の記憶からも、知的好奇心がくすぐられるような授業や関わりを持ちたいと思っています。疲れてしまうと、なかなか勉強をしようという気持ちになれないけれど、自分が知らないことをもっともっと知りたいという学びへの貪欲さを、廣瀬事業の海外派遣の記憶は思い出させてくれます。

どれだけ本を読んだり、インターネットを通じて情報を集めたりしても、「百聞は一見に如かず」、体験に勝る情報はありません。「やりたい」と思っても行動に移さないと、後悔が残ります。やった後に見える景色は、それまでの景色ときっと違う。そのような体験を廣瀬事業海外派遣で出来たから、私は自分の教え子に自信を持って「挑戦してごらん」と背中を押すことができます。

素晴らしい経験をさせていただいた廣瀬先生には感謝の念でいっぱいです。



ヨセミテにて 左が河合さん

廣瀬清市瑞陵高校奨学事業の思い出

村松憲一（瑞19回）

私が瑞陵高校に赴任してすぐにこの事業に関わらせていただいた。この事業の始まった経緯や事業の記録、参加者の感想などは「廣瀬清市先生と瑞陵高校奨学事業」(2009)という冊子に詳しく書かれているので、ここでは私が裏方として関わった思い出を書いてみたい。もちろん最初に記すべきことは廣瀬先生への敬意と感謝の気持ちである。その「人を育てる」というお気持ちの実践に関わらせていただいたことにまずにお礼を申し上げる。さて、第1回のオーストラリア派遣は手探り状態で始まったが、私がオーストラリアにしばしば出かけていたこともあって最初の派遣地と決まった。以後、最終の第19回事業まで計画立案に関わってきた。リトアニア派遣は西郷孝氏など詳しい方をお願いした。廣瀬奨学事業委員会の皆様には計画立案にかなりの

自由度とご理解をいただけたことがこの事業が19回という長続きした大きな要因である。第10回までは1年に夏2つと冬1つの3回の派遣に国内派遣事業も加わり、本務以外の仕事として、忙しくかつ楽しいものであった。派遣地の選定には、理科に関わるものを含めたいという気持ちがあった。それは、歴史や文化に関わる場所は旅行会社によるパッケージツアーで将来行く機会があると考えたからである(もちろん歴史・文化にウェイトを置いた派遣も実施した)。ただ、理科学的な内容の訪問地の情報は日本国内では非常に得にくい。多くの書籍やWEBサイトなどで調べたが、基本的には以前に私が訪れた場所を骨格に新たにコースを組み立て、それを旅行社に依頼して具体的なコースとしていった。現地ガイドが初めて訪れたという所が多かったと思う。



第1回海外派遣(オーストラリア)

もう一つこの派遣事業で心がけたことは、ただその場所に行き見学・観察するだけでなく、通常では見られないものを見せてもらったり、現地のプロに説明をしてもらうなどの+αを加えることである。これは旅行業者ではむづかしいことが多く、私の個人的な伝手や、慣れぬ英語の文書の交換で実施したものが多い。

何回もの事業の中で裏方として印象に残ったことをいくつかをお話したい。

- ・現地ではテントでの宿泊を予定していったら、テントを張る場所はあるがテントがなかった。すったもんだして、深夜に何とかキャビン?のような所を確保した。夏の乾燥地なので網目越しに星空を見ながら寝られてよかったという感想があった。
- ・NASAのジョンソン宇宙センターでは宇宙飛行士との面談ができないかということで、現地で急遽お願いした。快くOKがもらえ宇宙飛行士への質問や説明を受けることができた。
- ・出発前日の夜10時頃、旅行業者から搭乗予定機が現地から来ないので予定の飛行機に乗れないという電話が自宅にあった。真夜中まで電話のやりとりで、とにかく席の確保できた飛行機でパリへ、そこから先は添乗員の判断で行き当たりばったりの乗り継ぎを繰り返してもらった。
- ・派遣直前のイギリス国内のテロ騒ぎで、イングランド派遣をスコットランド派遣に変更。全コースキャンセル、新コースの設定で費用が倍近くかかった。スコットランドだけという非常に貴重な派遣となった。急遽の変更、手配は旅行社に感謝したい。
- ・ハワイのすばる望遠鏡は4200mの高地にある。ここの見学は業者を通してはできないので、私の知人からドイツ

にいる研究者を通して国立天文台ハワイ観測所に勤務する研究者を紹介してもらった。私もこのような高地に登ったことがないので、その春に私費で下見に雪の山頂まで登り、細かい打ち合わせを行った。当日、まず、東京大学宇宙線研究所の観測施設(紹介してもらった研究者から個人的に依頼)とNOAA(アメリカ海洋大気庁)(業者を通せず、手続きが面倒)を訪れた。ともに、標高3000m程度であるが、高山病の生徒が続出し酸素ボンベのお世話になる生徒も出た。それを見たチャーターバスの運転手が、すばる望遠鏡に連れて行くことに難色。添乗員とともに交渉で何とか2800mのビジターセンターまで行く。一般の旅行者はそこで1時間の休憩(座るところはない)で体慣らしをするのであるが、そのすぐ上方に世界中の観測者たちの共同の宿泊、休憩施設があり、そこに特別に入れてもらう。食堂やビリヤードなどの施設がありなんといっても温かい。生徒は全員の体調回復。15才未満はすばる望遠鏡に入れないので、一年生3名と体調に自信の無い生徒を置いてすばる望遠鏡に向かう。一般の見学コースのほかに、パソコンの並ぶ観測室で研究者から話を聞いたり、観測所職員の休息室で休ませてもらう。数人以上高山病の傾向がみられ、車いすなど用意していただきお世話になった。観測所の車に乗せてもらい2人の体調不良者を引率して2800mまで降ろす。他のメンバーは山頂にある他の国の望遠鏡を見学した。

- ・ハワイのハナウマ湾では特別の説明を受けるために、ハワイ大学、ハワイ国立公園局など面倒な手続きがあった。旅行業者経由はダメとのことで四苦八苦の作業であった。シュノーケリングをほぼ全員で楽しんだ(下見の時に保護者承諾書用紙をもらっており、当日提出)。
- ・フランスではパスツール研究所を訪れた。博物館部分は一般のツアーで見られるが、せっかくだから研究室もみたいと依頼したがウィルスなどを扱う施設もありダメといわれた。そこでやはり知人の大学の薬学部の教員を通して、パスツール研究所に勤めていた研究者を紹介してもらい、無理を頼んで10分間だけ、写真はダメという条件で見学できた。所狭しと並んだ実験器具の間を忙しそうに歩き回る研究者たちをみてどんなことを感じたかなと思う。
- ・ニュージーランドでは大雨のため途中から道路冠水で行くことも戻ることもできなくなり立ち往生。急な食事場所や宿泊施設探しの対応で、小さな街を歩き回った。数時間閉じ込められたが、夜遅くその日の宿泊地に着いた。目の前で崖が崩れる様子などが見られ自然災害が実感できたと思う。
- ・ニュージーランドのクライストチャーチでは以前より地震が続いていたが、訪問予定日には見学可能だったため、市街地にある大聖堂の塔に登り眺望を楽しんだ。その2ヶ月足らず後に日本人の犠牲者も多く出た地震が起こり、自分たちが登っていた塔も、跡形もなく崩れ落ちていた。ニュースでその場面を見てショックを受けた生徒もいた。

ほかにも、夜、友の部屋に行こうとしてガードマンに不審尋問された生徒、寝坊して早朝の野生のワニ見学ができなかった生徒、夜、おしゃべりで隣室から苦情が出たりいろいろあった。旅行に際して一番気を遣ったことは食事による体調不良である。毎回くどく話したことは、生水の飲

用禁止と、食べたいものだけを食べて、量が多ければ残すことである。全事業を通して事故が一度もなかったことが一番よかったと考えている。

後半の事業の実施は、すでに私が退職していたため、個人のメールを通しての応募、選考、実施になった。事前指導の時に初めて顔を合わす生徒の引率という変則的な実施は、学校側の協力が得られたことが大きい。定時制生徒もいるため作文だけの選考という方法もいろいろなご意見があったことは承知している。しかし、結果から見てもこの選考方法があながち不適切だったとは思われない。

海外派遣のことばかり書いてきたが、国内派遣も充実したものであったと思う。奈良、京都は社会科の方が中心に計画してくださった。野辺山宇宙電波観測所、徳山ダム、筑波実験植物園などでも現地の研究者に事前に依頼して案内・説明をしていただいた。

海外派遣の訪問地の多くは個人ではまず行くことがむづかしい。国内も現地研究者による解説を特別に受ける機会は少ない。この派遣の“すごさ”と訪問地のもつ“魅力”は参加者が大学や就職してから感じてもらえるはずだとちょっぴり自負している。

廣瀬事業その後

瑞陵会事務局 森 重 統 (瑞20回)

廣瀬先生がお亡くなりになり、多額の贈与税を支払った結果、委員会にいただいた資金の底が見えてきた。生徒を迎えにセントレアへ行った帰り途、名鉄特急の中で「今後をどうするか」を中神委員長（故人）と話した際の喪失感はまだ記憶に残っている。

結局、事業規模を縮小するより、資金がある限り従来の活動を継続することを選んだ。海外派遣事業は理科の村松憲一教諭（瑞19回）が中心となって実施され、第18回ニュージーランド派遣をもって平成22年に終了した。お世話くださった村松氏の識見と行動力には改めて敬意を表す。廣瀬事業については西郷孝氏（瑞27回）が編集した「廣瀬清市先生と瑞陵高校奨学事業」（平成21年12月発行）に詳しく書かれている。

廣瀬先生は亡くなられたが、「後輩のために」という廣瀬マインドは受け継がれた。

先生の心意気に共鳴した濱島誠一郎氏（瑞20回）が事業の継続を申し出てくださり、国内事業（バスを使った見学旅行、生徒の研究助成）は続けられる見通しがついた。瑞陵生の知的好奇心育成の機会が確保され、感謝するとともに安堵したことを覚えている。私が退職をする平成22年の春のことであった。

この後、熊澤喜八郎氏（瑞16回）から海外派遣事業復活の申し出をいただき、日比野・牛田両教頭のご尽力で平成24年「一般財団法人瑞陵高校助成基金」が設立された。高校生という多感な時期に海外の博物館・美術館を見学し外から日本を見るという体験は、今後の貴重な糧になるであろう。

同窓会も働いた。平成24年、感喜堂を壊し新しい給食施設を建設する案が県・財務施設課から示された。瑞陵会は学校の意向を汲み、大正建築の遺構であり名古屋市内最古の講堂を残すべく陳情書を提出。平成25年の大村知事と河

村市長の視察を経て、翌年に耐震改修工事が行われた。（瑞陵会報2014、2015）これに伴い瑞陵会は創立110周年記念事業の一環として基金を設立。募金を呼びかけ、平成27年夏可動式間仕切と空調設備を設置し、講堂の機能を持たせながら快適な食堂と学習室を作りだした。

百周年からの10年間を振り返ると、廣瀬先生の風と杉原千畝の風によって帆走した10年であった印象を受ける。廣瀬マインド・杉原マインドという偉大な風を受けることによって学校の向かう方向も見えてこようというものだ。

従来の「おおらかな」校風に加え、「人に対する愛」という風を感じられる生徒は幸せである。「母校」という言葉は一層暖かく響くであろう。生徒諸君には恵まれた環境を積極的に利用し、好奇心・探求心を充たしてもらいたい。卒業後は社会を支え、活躍してもらいたい。然る後、自分の出来ることをして後輩を育てる。そんな伝統が息づく瑞陵であって欲しい。夢のようなサイクルは回り始めている。

濱島誠一郎奨学事業

廣瀬先生の遺志を継いだ濱島誠一郎氏（瑞20回）の出資による事業。生徒の自主研究、研修バスツアー（正倉院展や杉原千畝記念館など各所）の補助等 毎年200名ほどが参加している。

濱島事業

教諭 黒田あつ子

「よく遊び、よく学べ」をモットーに、興味を持った企画にその都度集まり、週末を利用して学校の外へ出かけていく。そんな濱島事業でいくつかの美術展鑑賞に関わり、成長していく生徒たちを間近に見てきました。教師冥利に尽きると感じています。

何しろ本物が持つオーラは特別です。ゴッホの強烈な色彩や筆致、源氏物語絵巻の繊細な美しさは一目瞭然でした。日本の至宝展では国宝級の名品と当時の職人たちの超絶技巧に、日本美術に関心のなかった生徒たちも息を飲んでいました。これらに学芸員のレクチャーが加わるのですから面白さは倍増です。美術品の海外流出に憤慨する一方で、おかげで散逸を免れて良い状態で残ったのだと感心したり、そんな皮肉な事態に慙然としたりと、会話を弾ぜんが感動を深め合う様子が、後日提出されたレポートからも伺えました。

思うに、それは“いつもとは違う友達”と体験を共有し、“いつもとは違う言葉”で語り合った結果ではないでしょうか。生徒の受けとめ方はさまざまですが、学芸員の話に聞き入り必死にメモを取る生徒、レポート用紙を細かい文字で埋め尽くす生徒の放つオーラもまた強力です。「よく遊べ」を「よく学べ」の前に置き、性急に成果を求めないからこそ、濱島事業は生徒同士の貴重な学びの場になっているのだと思います。

ところで、先の展覧会で小さな木版画に魅せられた一年生がいました。吉田博…ほとんど聞かない名前です。二年後、彼の作品展があると知った彼女は早速企画を立てました。参加数が危ぶまれ、人気のゴッホ／ゴーギャン展と掛け合わせました。結果は、多くの生徒にとっては言わばお

まけだった木版画展が予想外の大好評でした。彼女の思いは通じたのです。こんな「うれしい想定外」も、間違いなく濱島事業の大きな魅力です。

第2回はルーヴル美術館・大英博物館等へ派遣。現在までに6回実施、約70名が参加している。瑞陵会とは別組織の「一般財団法人 瑞陵高校助成基金」により運営されている。

濱島事業のお世話になって

松永優希 (瑞68回)

私は、高校1、2年生の時に時習館高校SSグローバル研修に参加していました。この研修は、各自で何かしら研究を行い、それを英語で発表するというものでした。選ばれた生徒の中では、イギリスに行き各々の研究成果を現地の高校生に向けて発表する人もおり、私もその一員でした。

私は梅干しの殺菌効果に興味をもっていました。そこで1年生の時からこの研修に参加し、「梅酢の塩分濃度、赤紫蘇の有無で殺菌効果・防腐効果がどのように変化するか」ということを調べ始めました。この研修に参加して痛感したことは、研究は簡単には出来ないということです。1年生の時は濱島事業の援助を受けておらず、自費で研究を行っていたのですが、研究にはみなさんの予想している以上にお金がかかります。たかが高校生が行ったクオリティの低い研究であってもです。2年生になったら精度をあげた研究を行おうと思っていましたが、寒天培地一つとっても市販品を買うとその分費用がかさみます。(自作すると雑菌の入るおそれがあります)

濱島事業では1人あたり最大10万円の援助をしてくださいます。2年生になってこの援助を受け、研究費負担の心配が無くなったことは大きな助けとなりました。その結果、塩分濃度20~25%の殺菌効果が一番高く、塩分濃度を上げすぎても梅酢の殺菌効果は高くないというデータを得ることができました。そして、改めて日本人の知恵に感心しました。(家庭で作る梅干しの塩分濃度は20%)

卒業して初めて知ったのですが、このような支援は他の高校には無く、とても貴重な支援だったのです。私はかなり恵まれていたのだと思いました。私のように「研究費」などと大げさな言い方をすると、申請がしづらい人もいるでしょう。ですが、この濱島事業の支援は、学校の中・外を問わず勉学に励もうとする積極的な人なら誰でも申請できるものです。少しでもやる気のある人は是非とも利用してみてください。きっと濱島先生にも喜んでいただけると思います。

熊澤喜八郎事業

熊澤喜八郎氏 (瑞16回) の出資による事業。海外への生徒派遣事業を復活し、第1回は米国スミソニアン博物館等、

NZで学んだこと

309R 池庭 誉彦

昨年の7月29日、僕たちは中部国際空港を出発して、成田、オークランドを経由して、ウェリントンへと向かいました。海外へ行ったことは数回あったのですが、一か月間という期間、また海外で一人で生活したことなどなかったもので、どんなことが待っているのだろうとワクワクしながら入国したことを今でも鮮明に覚えています。

<学校生活>

ニュージーランドに到着した二日後、ついに学校生活が始まりました。

僕の通っていたScots Collegeは幼稚園から高校までが一貫の私立の名門の男子校であり、IB=国際バカロレアワールドスクール認定校で、生徒それぞれのニーズに合わせて幅広い教育を行う「全人教育」を提供しています。この学校には日本人はほとんどおらず、また、日本語を話すことのできる先生もいませんでした。そのような状況であったので、確かに不安もありましたが、逆に、日本人が僕以外誰もいないということは、日本語に頼ることは全くできないので英語を上達させるという意味では僕にとって最高の学習環境であり、一か月という短い期間の中でしたが、現地の生徒たちとも仲良くなり、会話のスキルも上達させることができたので、本当によい学習環境に恵まれたと思います。

<感想>

この一か月は僕にとって今までの人生の中で最も大変であり、最も充実した一か月でした。英語を習得するだけでなく、日本とは違う環境の中で生き抜いていく精神力も身に着けることができたと思います。わからないことがあったときはすぐに尋ね、そうしているうちに現地の人々と打ち解けあうことができました。そして会話を通して直に文化の違い、考え方の違いなどを感じることができました。わからないままにしていたら何も始まらない。失敗を恐れず、失敗するからこそ成長することができると思う僕です。

僕は将来、英語を使って海外で仕事をしたいと思っています。それゆえ今回の経験は僕の将来にとって必ずプラスになると思います。

最後にこのような素晴らしい機会を僕に与えてくださった財団の方々、先生方、本当にありがとうございました。

滝山獣医科病院

獣医学博士 滝山 昭

(瑞16回)

〒458-0835 名古屋市緑区鳴海町上汐田220
TEL.052-621-0179 FAX.052-621-2020

近藤産興株式会社

代表取締役 近藤 昌三

(瑞10回)

〒457-8535 名古屋市南区浜田町1-10
TEL.052-614-2511 FAX.052-611-5826

NC工作機械・工具の総合商社

株式会社 新栄商会

代表取締役社長 時津 達也

(瑞44回)

〒468-0056 名古屋市天白区島田2-516
TEL.052-801-1222(代) FAX.052-803-1321
<http://www.e-net-shinei.co.jp>

「瑞陵高校瑞陵会基金」と「賛助会費」による支援

瑞陵会では2012年に「賛助会費」の募集をはじめ、全国大会出場生徒補助、吹奏楽部楽器購入補助、生徒会活動補助、同窓会行事補助等の支援を行ってまいりました。

また、2016年3月には、「後期文化的行事」として名古屋市民文化会館での映画『杉原千畝』の鑑賞を支援し、2017年にはリトアニアのスギハラハウス（旧日本領事館）補修費用への寄付（3000ユーロ）を行いました。

（「賛助会費」については、p. 31参照してください。）

さらに、2014年に一般財団法人「瑞陵高校瑞陵会基金」を設立し、寄せられた寄付金を今回の「五中－瑞陵創立110周年記念事業」の式典、イベントのほか、感喜堂（旧講堂）に可動式間仕切を設置して学習室と空調設備を整備することなどに当てています。感喜堂の空調設備はリースであり、継続的な支援が必要であります。今後とも皆様方のご支援を賜りたいと存じます。

口座番号00880-4-183489

口座名 一般財団法人瑞陵高校瑞陵会基金

確実に定着したポプラ並木

現在では、瑞陵高校の正門から玄関のまでのアプローチにある「ポプラ並木」は、瑞陵高校のシンボルといえるものであるが、この位置にポプラ並木ができたのはそれほど前のことではない。

ポプラは以前から瑞陵高校のシンボルで校歌にも歌われているが、それまでは運動場の周囲を取り囲むように植えられていた。しかし、老木となり隣家への配慮から枝払いが行われ、数が減ってきた。創立百周年を前にして、今の位置にポプラ並木を作ることが検討された。県からは台風などで倒木する可能性の高いポプラではなく別の樹木を植えるように提案されたが、当時の伊神勝彦校長（15回）は「瑞陵にとって、ポプラ以外の選択肢はない」と強く主張され、ポプラを植えることになった。ひとくちに「ポプラ」といっても、いろいろな品種があり、根がしっかりしているが樹形がいまひとつのもの、樹形は良いが根の張りが弱いものなどがある。この時、樹形を優先したために、移植後、何回か台風で倒れることがあったが、最近では台風前に剪定するなどして倒れることなく安定している。



ポプラ並木以前の風景



現在の校門からの風景

職員室前廊下の学習机

瑞陵高校を授業後に訪れると、職員室前の廊下で学習している生徒が目につく。最近の瑞陵高校では「日常的な」光景である。感喜堂に「学習室」が作られたが、「ここは先生にすぐ質問できる」と根強い人気がある。この学習机も2005年に当時の伊神勝彦校長が同期の15回生を募って資金を集めて設置したものである。



<p>生命保険・損害保険代理店 株式会社エイチ・ケイ・コーポレーション</p> <p>代表取締役社長 加藤 秀雄 (瑞25回)</p> <p>〒352-0006 埼玉県新座市新座1-13-19 TEL.048-485-1483 FAX.048-479-7701 Email katochan@df6.so-net.ne.jp</p>	<p>渡辺歯科</p> <p>院長 渡辺 龍彦 (瑞18回)</p> <p>〒470-1151 豊明市前後町善江1720-8 TEL.0562-97-7314 FAX.0562-97-8214 http://www.watanabesika.net</p>	<p>太子歯科医院</p> <p>院長 小森 敦大 (瑞33回)</p> <p>〒458-0823 名古屋市長区太子2-190 TEL.052-623-1184/0120-415-218 http://www.taishi-dental.com/</p>
--	--	---

瑞陵高校この10年（年譜）

暦年 卒業回数	瑞陵高校・瑞陵会の出来事	国内国外の出来事
2007 (平成19) 第59回	2月 廣瀬清市先生逝去 3月 59回生卒業（以下省略） 4月 コスモサイエンスコース第1回生入学 10月 五中－瑞陵百周年記念式典挙行、 吉例顔見世講演鑑賞（御園座） ・廣瀬清市奨学事業生徒海外派遣 夏：イギリス16名、リトアニア・ポーランド15名 冬：ドイツ・チェコ16	5/14 憲法改正手続きを定めた国民投票法成立。施行は2010年 6/20 改正イラク特別措置法、教育関連三法成立 9/12 安倍首相突然辞任 9/29 高校教科書検定で、沖縄の集団自決に関する記述から「日本軍の強制」が削除されたことに抗議する沖縄県民集会、11万人
2008 (平成20) 第60回	4月 「愛知スーパーハイスクール（教育課程）」の研究指定（期間3年） 6月 普通教室にエアコン設置（PTAによるリース方式） ・廣瀬清市奨学事業生徒海外派遣 夏：ハワイ14名 冬：マレーシア・シンガポール14名	1月 新テロ対策特別措置法可決 7月 iPhone 3G発売 8月 北京オリンピック開催 9月 リーマンブラザーズ経営破綻、リーマンショック 10月 ノーベル賞日本人4人（小林・益川氏） 11月 アメリカ大統領 オバマ氏当選
2009 (平成21) 第61回	10月 コスモサイエンスコース設置記念特別講演会 有馬朗人氏「20世紀の物理学の発展」（講義） 「電気の歴史をたどる」（実験授業） ・廣瀬清市奨学事業生徒海外派遣 夏：アメリカ西海岸14名 冬：ベトナム・カンボジア14名	1月 アメリカ 民主党政権誕生 5月 裁判員制度スタート 7月 日本で46年ぶり皆既日食観測 8月 第45回衆議院選挙で民主党圧勝、鳩山内閣成立 11月 行政刷新会議、事業仕分けスタート
2010 (平成22) 第62回	4月 山口春久 校長に補せられる。 定時制修学旅行（グアム島）終了 7月 家庭科棟調理室エアコン設置 ・廣瀬清市奨学事業生徒海外派遣 第18回を以て終了 夏：フランス14名 冬：第18回派遣事業ニュージーランド14 7月 「濱島誠一郎生徒奨学事業」開始 濱島誠一郎氏（20回生）による奨学事業 バス：表千家不審庵・北野天満宮、薬師寺・平城宮跡等3件、見学：市博物館（ボンベイ展） 研究助成：APRSA水ロケットコンテスト、JAXA相模原、知の探検講座等5件	1月 日本航空、会社更生法適用申請 2月 バンクーバー冬季オリンピック開催 6月 鳩山首相普天間基地問題の混乱で辞任、菅内閣発足 小惑星探査機「はやぶさ」7年ぶり地球帰還 サッカーW杯 南アフリカ大会開催 7月 参議院選挙で民主党大敗、「ねじれ」国会となる
2011 (平成23) 第63回	4月 定時制修学旅行（沖縄）開始 定時制 車・バイク登校禁止（大学生より） ・「濱島誠一郎生徒奨学事業」 バス：奈良正倉院展、二条城・仁和寺等3件 見学：市博物館（古代メキシコ文化展）等 研究助成：知の探求講座、サイエンスキャンプ等4件	3月 東日本大震災、M9.0、東電福島第1原発事故発生 4月 英国ウイリアム王子とキャサリン妃挙式 8月 野田内閣、1ドル＝75円台（戦後最高） 12月 北朝鮮金正日総書記死去、後継者は三男正恩氏 今年の漢字「絆」
2012 (平成24) 第64回	1月 瑞陵会臨時総会（役員会） 新会長に日本商工会議所専務理事 中村利雄氏（17回） （毎年総会開催、通常活動補助の「賛助会費」新設） 3月 高木修瑞陵会会長 退任 4月 吉沢雅之校長に補せられる。 10月 日本イスラエル国交60周年記念植樹 ベレグ＝レヴィ公使来校、スピーチとオリーブ植樹 11月 「一般財団法人瑞陵高校助成基金」発足 熊澤喜八郎氏（16回生）による生徒海外派遣事業開始 以下「熊澤喜八郎事業」と記載 ・「濱島誠一郎事業」 バス：鞍馬山、正倉院展、熊野古道等3件 研究助成： SSHスーパーカミオカンデ、知の探求講座等3件 見学：市科学館（OCEAN展）名古屋ボストン美術館（日本美術の至宝展）等4件	2月 東京スカイツリー竣工 5月 中国共産党大会、習近平氏総書記に選出 7月 ロンドンオリンピック開催 9月 尖閣諸島国有化で日中間係極度に悪化 11月 米国でオバマ大統領再選 12月 第46回総選挙で自公圧勝、第2次安倍内閣発足 ips細胞で京都大学山中教授にノーベル賞
2013 (平成25) 第65回	3月 管理棟耐震工事完了 4月 定時制学級減（1学年1学級募集となる） 5月 瑞陵会「旧講堂（感喜堂）保全の陳情書」提出 6月 大村愛知県知事・河村名古屋市長感喜堂視察 8月 瑞陵会「一般財団法人瑞陵高校瑞陵会基金」 感喜堂整備工事、周年行事の基金として設立 ・「熊澤喜八郎事業」 海外学習事業：3月アメリカ、スミソニアン博物館・ メトロポリタン美術館見学（12名） ・「濱島誠一郎事業」 バス：杉原記念館、幕末の京都巡り、伊勢神宮、 一日京大生（フィールドワーク） 研究助成：透明骨 格標本、サマーサイエンスキャンプ、SSH（海外重点 枠）等5件	2月 韓国、朴槿恵大統領就任 3月 あべのハルクス開業 4月 「異次元の金融緩和」アベノミクス始動 1 \$ = 107円 7月 第23回参議院選挙、自民圧勝「ねじれ」解消 TPP交渉に日本初参加 9月 東京オリンピック開催決定（2020年） 10月 元国家安全保障局（NSA）職員スノーデン氏、盗聴 による個人情報収集を暴露 伊勢神宮式年遷宮 12月 特定機密保護法参院可決、成立 和食がユネスコ無形文化遺産に登録

瑞 陵 会 報 2017

暦年 卒業回数	瑞陵高校・瑞陵会の出来事	国内国外の出来事
2014 (平成26) 第66回	4月 カリキュラム変更(2年生で文理分け) 7月 感喜堂・食物科棟耐震改修工事開始 ・「熊澤喜八郎事業」 奨学事業 iPad 50台寄贈 海外学習事業 3月:ルーブル美術館、大英博物館見学(12名) 7月:イタリア4都市とパリ見学(16名) ・「濱島誠一朗事業」 バス:幕末の京都、正倉院展、京都大学等4件 見学:科学館(プラネタリウム)、博物館(縄文文化)等3件 研究助成:知の探求講座等4件	2月 ロシア・ウクライナ紛争(クリミア半島をロシアに編入) 4月 消費税8%に引き上げ 7月 安倍内閣、解釈改憲で「集団的自衛権」容認 9月 御嶽山噴火、死者・行方不明者63名 11月 第47回衆議院選挙、自民党圧勝
2015 (平成27) 第67回	3月 感喜堂・食物科棟耐震改修工事竣工 4月 新井忠 校長に補せられる 8月 感喜堂移動式間仕切り工事及び空調設備施工終了 9月 感喜堂耐震改修工事竣工式典 瑞光館(9/14) 12月 映画「杉原千畝」記念プレート贈呈式(感喜堂) ・「熊澤喜八郎事業」 海外学習事業 3月:アメリカ、スミソニアン博物館・メトロポリタン美術館見学(12名) 海外学習生徒派遣challengingコース事業 7月から4週間ニュージーランドで研修 男女1名 ・「濱島誠一朗事業」 バス:上賀茂下鴨神社、東海大海洋博物館、熊野古道、敦賀ムゼウム等6件、 見学:徳川美術館(源氏物語絵巻)、市博物館(名古屋めし)等3件 研究助成:知の探求講座等3件	4月 米国 キューバと国交回復 4月~8月 NHK「戦後70年ニッポンの肖像」放映 6月 中国主導のアジアインフラ投資銀行AIIB創設 9月 安全保障関連法成立、 EUに中東・アフリカからの難民急増 ・杉原リスト、ユネスコ記憶遺産候補に選定(文科省) 10月 TPP交渉大筋合意 米軍、南シナ海で「航行の自由作戦」、人工島造成による領海化をはかる中国と対抗 11月 政府が普天間基地の辺野古移設工事着工、 翁長沖縄県知事と法廷闘争 ISによるパリ同時テロ、COP21「パリ協定」採択 12月 外国人観光客1800万人に激増、「爆買」
2016 (平成28) 第68回	3月 体育館(瑞光館)天井改修工事竣工 生徒会文化的行事で映画「杉原千畝」鑑賞(1・2年及び3年有志、定時制生徒有志約) 4月 定時制全学年40名募集の単級校となる 五中三九会、杉浦桜碑除幕式 7月 愛知県 杉原千畝顕彰施設に係るリトアニア視察(県職員と本校兵藤教頭) 10月 名古屋市「人道の道」設定(平和小学校~瑞陵高校) 杉原氏の業績を讃える説明プレートを校門横に設置 11月 「杉原千畝・人道の道」銘板完成式典(感喜堂) 名古屋市長・愛知県知事、敦賀市長、八百津町長出席・ポプラシート事業終了 ・「熊澤喜八郎事業」 海外学習事業 3月:イタリア、ウフィツィ美術館等(12名) 海外学習生徒派遣challengingコース事業 7月から4週間ニュージーランドで研修 男女1名 ・「濱島誠一朗事業」 バス:高台寺・仁和寺、杉原記念館、壬生寺・南座、熊野古道、飛鳥寺・興福寺等5件 見学:名古屋ボストン美術館(ルノワール展)等3件 研究助成:発酵による熱エネルギーの研究等3件	4月 熊本地震、鳥取、東北でも地震多発 6月 イギリスで国民投票、EU離脱 18再選挙権施行(7月参院選が初投票) 7月 東京都知事に小池氏当選 「ポケモンGO」配信開始 8月 リオデジャネイロオリンピック開幕 天皇陛下生前退位のご意向 11月 アメリカ大統領選挙でトランプ氏勝利
2017 (平成29) 第69回	4月 「あいちSTEMハイスクール」研究指定校(期間3年) 6月 瑞陵高校旧正門 国の登録有形文化財(建造物)登録 10月 五中~瑞陵創立110周年 記念式典、祝賀会(水澤心吾「杉原千畝物語」上演、吹奏楽部演奏) ・「熊澤喜八郎事業」海外学習事業 3月:アメリカスミソニアン博物館、メトロポリタン美術館(10名) 海外学習生徒派遣challengingコース事業 7月から4週間ニュージーランドで研修 男女1名 ・「濱島誠一朗事業」 バス:二条城 見学:エルミタージュ美術館展 研究助成:JAXA君の作る宇宙ミッション等	1月 トランプ大統領就任、TPP離脱正式表明 稀勢の里初場所優勝、19年ぶりの日本人横綱誕生 3月 韓国朴槿恵大統領、弾劾判決、罷免失職 4月 名古屋港にレゴランドオープン 5月 フランス大統領選挙、親EU派マクロン氏当選 韓国大統領選挙、最大野党の、文在寅氏当選 6月 共謀罪を含む「改正組織犯罪処罰法」参院で可決成立 7月 北朝鮮のミサイル発射実験頻発

「杉原千畝 人道の道」の設置 (名古屋市)

「命のビザ」で知られる杉原千畝は少年期の約10年間を名古屋で過ごした。2016年、名古屋市は当時の居住地付近(中区平和一丁目)から出身校である県立第五中学校(現在の県立瑞陵高校)を結んだルート約4.5kmを「杉原千畝人道の道」と名付け、銘板などを設置した。



「人道の道」ルートと銘板設置場所



瑞陵高校正門東側に設置された銘板

「杉原千畝 人道の道」銘板完成記念式典

「杉原千畝 人道の道」銘板完成記念式典が、2016年11月4日(午後0時50分から1時30分まで)に、NPO法人「杉原千畝 命のビザ」の杉原まどか副理事長(千畝氏のお孫さん)、杉原美智顧問(千畝氏の長男夫人)、平岡副理事長、河村たかし名古屋市長、大村秀章愛知県知事、測上隆信敦賀市長、金子政則八百津町長らが出席して、瑞陵高校感喜堂で行われた。瑞陵高校での式典後、「人道の道」の起点付近である平和小学校でも同様なセレモニーが行われた。



テープカット 中央が杉原まどかさん、その右が美智さん

瑞穂区まちかどコンサート

記念式典に引き続き、瑞穂区役所主催の「瑞穂区まちかどコンサート」が行われた。演奏はチェロの野村友紀(瑞陵53回)さん、平光真彌さん・鳥居愛子さん(ヴァイオリン)、新谷歌さん(ヴィオラ)の弦楽四重奏で、式典前のオープニング演奏も担当した。「人道の道銘板完成記念式典」後の13時40分から約1時間にわたって感喜堂に弦楽の調べが響きわたった。



右がチェロの野村友紀さん

「人道の道」ウォークイベント

式典の翌日、「人道の道」ウォークイベントが行われ、終点である瑞陵高校も参加者で賑わった。

旧正門が文化財建造物として登録される

2017年3月10日に国の文化審議会は、文化財建造物の登録について文部科学大臣に答申し、県立高等学校(旭丘高等学校を始め13校)に所在する歴史的建造物(現役門柱)が一括して登録され、愛知県立瑞陵高等学校旧正門門柱(旧愛知県商業学校正門)もこの中に含まれた。

旧正門は、現在の愛知県立瑞陵高等学校の校地にあった旧愛知県商業学校(大正8年(1919)4月開校)の正門として、大正13年(1924)年3月に同校校舎とともに建設されたものである。戦後の学制改革で昭和23年(1948)10月から、愛知県立瑞陵高等学校の正門として使われた。その後、昭和52年(1977)2月に現在の正門が竣工すると、「旧正門」と称し、通用門として使われている。(S)



瑞陵高校に杉原千畝顕彰施設を設置 (愛知県)

愛知県の杉原千畝顕彰施設の計画が、「瑞陵高校に千畝顕彰施設」という大きな見出しで2017年9月7日の中日新聞に掲載され、NHKのニュースでも報じられた。愛知県では、すでに3000万円の予算規模で2018年3月までに瑞陵高校の正門西側に顕彰施設を設置する計画であったが、このたび、追加予算を含めて総計1億円規模となり、当初の計画よりも面積を拡張されたものが2018年10月完成予定で作られることになった。

杉原千畝氏を顕彰する施設としては、すでに岐阜県八百津町の杉原千畝記念館があり各種資料が展示されているが、学校に作る施設なので学生時代の写真や作文など他の施設にはない新たな資料が求められた。愛知県教育委員会では、展示するための新たな資料の調査・収集を3年ほど前から行ってきた。五中時代の校誌「瑞穂」の記事などを丹念に読み込んで手がかりを探るといふ地道な作業が続けられた。瑞陵会も資料収集に協力してきたが、瑞陵高校に残る資料はほとんどなく、新たに発見された資料を見せられて驚嘆することが多かった。仕事とはいえ、愛知県教育委員会の担当者の方には頭が下がる思いであり敬意を表したい。その尽力によって、予想していたより多くの資料が収集された結果、当初予定していた施設を拡張することになったようである。

県の計画では、正門の西側の市道に面したところに屋外型の展示施設を作ることになっている。そのため、現在の正門付近の景観は若干変わると思われる。主な展示内容は、①人道的な功績を称える象徴的なモニュメント（杉原千畝氏の執筆姿の立体像や同氏が発給したビザのリスト）、②外交官としての仕事とその意思を受け継いだ人々（外務省外交史料館所蔵の公電資料）、③県立第五中学校在学当時の作文、が挙げられている。

愛知県では、ユネスコの「世界の記憶」への登録申請がされていることや、今年度から「杉原千畝ルート推進協議会」において外国人観光客を対象に誘客活動を本格的に展開していることなど、県内外から関心が高まっているとしている。

国内外の多くの人々に千畝氏の業績などをより理解できる施設となり、在校生にとってもよい刺激になればありがたいものだ。



京浜五中会の記念写真（昭和10年）非常に貴重な1枚だ。前列左から3番目が江戸川乱歩氏、6番目が千畝氏。この写真は、市川鴻之祐氏により「百周年記念誌」で紹介されている。

杉原千畝研究会の瑞陵高校訪問

杉原幸子「6000人の命のビザ」など、杉原千畝関連の著作を出版している大正出版の社長で杉原千畝の研究者でもある渡辺勝正氏と杉原千畝研究会のメンバー約20名が、5月10日に瑞陵高校を訪れ、旧五中の校地（名古屋市立瑞穂ヶ丘中学校）や感喜堂の展示を見学した。

杉原千畝研究会はこれまでも、リトアニア、ロシアなどの杉原千畝に関係する各地を訪れるツアーを実施してきたが、今回は、国内研修で、羽田から福岡に行き、引き揚げ船が入港した福岡港を視察、広島で平和公園などを見学した後、名古屋で平和小学校や瑞陵高校を見学した。この後、八百津の杉原千畝記念館を見て、舞鶴や敦賀を回るなど3泊4日にしては、かなりハードなスケジュールであった。

大正出版の渡辺社長には、2000年に瑞陵会主催で劇団銅鑼「センボ・スギハアラ」の観劇会を実施して以来、資料提供などで大変お世話になってきた。今回、はじめて来校されて案内することができ、少しはお役に立てたかなと思っている。



オペラ「人道の桜」新南田ゆり氏来校

「杉原千畝物語 オペラ 人道の桜」は2015年5月、リトアニアの首都ヴィリニウスで世界初演され、7月に早稲田大学大隈講堂、12月に品川きゅりあん大ホールにて上演された。また、2017年3月25日には新宿文化センター大ホールにて再演された。

この脚本を手がけ、杉原幸子役を演じたオペラ歌手の新南田（しなだ）ゆりさん（写真は品川公演にて）が、2017年7月12日に瑞陵高校を訪れ、旧五中の校地や感喜堂の展示を見学した。暑い中、「人道の道」を平和小学校から瑞陵高校まで実際に歩かれたそう。いずれは名古屋での公演も行いたいとのことであった。実現が望まれる。



(S)

平成28年度瑞陵会総会・交流会

平成28年度総会・交流会は、2016年8月28日（日）12時00分から約130名の参加のもと、メルパルク名古屋にて開催されました。今回の準備・運営の担当は昭和49年卒の26回生でした。

総会は、1階の「輝の間」で行われ、司会の佐合広利副会長（瑞20回）の開会の辞に続き中村利雄会長（瑞17回）が挨拶されました。来年は110周年を迎えるため、来年10月21日には瑞陵高校で記念式典を、メルパルク名古屋で記念パーティー（29年度総会を兼ねる）を予定している。記念式典に向けての準備の進捗状況、昨年、感喜堂も改修が完了し、卒業生にも使用が許可されるとの報告が行われました。杉原千畝ロードを作る動きもあり、県教育委員会も資料を展示する施設を作りたいと言っている。また、記念式典の時に杉原千畝を讃える芝居ができないかと考えている。「杉原千畝」の映画も上映され、大いに誇りに思っている。こうした人物を発掘して広めていきたい。最後に、同窓会の総会・交流会の活動を通して各方面で活躍している同窓生との出会いが多くなり、会員の絆が強くなっていくよう努力していきたいと述べられました。

第2部の交流会は、2階「瑞雲東の間」で行われた。開会の言葉は一ノ瀬喜之副会長（瑞18回）。新井忠校長より、現在の瑞陵の紹介、現役生達の各方面に亘る活躍の報告と

ともに、名古屋市が今年11月に瑞陵高校をゴールとする「杉原千畝 人道の道」のウォーキングイベントの開催を予定していること、愛知県が杉原千畝の功績を顕彰する建設物を設置予定であることが挨拶の中で披露されました。そして、瑞陵会の名誉顧問で、



100周年事業委員会の委員長をお務めいただきました鳥居大氏（五中37回）の乾杯の発声により交流会が始まりました。



た。会場のあちこちでは、世代を超えての交流・情報交換、また、本日の講演の感想についての話題で持ちきりでした。続いて、荒木郷兵副会長（瑞16回）から関東瑞陵会の活動状況の報告があり、その後、瑞陵高校の現在の様子をスクリーンに映し出して、事務局の森重統氏（瑞20回）から説明をいただき、参加者全員で視聴しました。さらに、恒例のお楽しみ抽選会の後、参加者全員で校歌を大合唱しました。その後、青木偉晃副会長（瑞17回）の閉会挨拶（写真左下）でお開きになりました。

役員の皆様、今年の準備・運営にかかわった皆様、ありがとうございました。

平成28年度瑞陵会 記念講演 講演要旨

演題 「時代劇は時代を映す」

講師 ペリー荻野（瑞33回）（時代劇研究家）

<略歴>

1962年愛知県豊川市生まれ。1981年愛知県立瑞陵高等学校を卒業後、愛知教育大学入学。同大学卒業後、ライター、放送作家として、広報紙やラジオ番組などの制作に携わる。現在、新聞雑誌など複数誌での連載を持ち、NHKラジオ第一「マイあさラジオ」に隔週土曜日に出演する。著書に「紋次郎も鬼平も犬神家もこうしてできた」（共著、NHK出版）、「このマゲがすごい！！」（講談社）など、近著に「バトル式歴史偉人伝」（講談社）。

プレス金型、専用機の製造販売
ムツミ工業株式会社

代表取締役 近藤 哲典
(瑞22回)

〒462-0866 名古屋市北区瑞璃光町5-1
TEL.052-913-2111 FAX.052-913-2100

つばめ自動車株式会社

代表取締役 天野 清美
社長 (瑞17回)

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目21番17号
TEL.052-201-8031代 FAX.052-201-8036
<http://www.tsubame-taxi.or.jp>

株式会社 東海流通システム

代表取締役 青木 偉晃
会長 (瑞17回)

〒453-0054 名古屋市中村区鳥居西通一丁目1番地
TEL.052-414-3600 FAX.052-414-3609



時代劇の変化と時代との関係、時代劇の可能性について、時代劇が大好きで、俳優や監督さんと親交のあるペリー萩野さんでしか知り得ない、楽しく面白いエピソードを交えて、下記のようにご講演いただいた。

1. 1950年代は日本映画の全盛期

映画館から人があふれるほど満員で、封切りを楽しみにしていた人が多かった。「当時の映画はどれだけお金がかかっていたかは、忠臣蔵の松の廊下の長さを見ればわかる」と言われ、「松の廊下」をテレビでは画面の幅分のセットで撮影していたのに対し、映画では大きなセットを二つ繋げて作るほどお金をかけて撮影していた。

2. 1960年代は映画の衰退期

テレビが普及し映画が衰退し始めた。テレビは当初「電気紙芝居」と言われ、映画より下に見られていたが、東映がこれからは「テレビの時代」だから面白いものを作るべきだと考え方を変えた。1966年に大川橋蔵主演の「銭形平次」、1969年に東野英治郎主演の「水戸黄門」がスタートした。「水戸黄門（あなたにとっての水戸黄門は誰か）を語ると年代がわかる。」と言われたほどの長寿番組だが、初代水戸黄門は東野英治郎ではなく、森繁久彌が演じる予定だったという伝説が残っている。

3. 1970年代はテレビ時代劇にとっては活気ある時代

「木枯らし紋次郎」が1972年に始まる。大映が市川崑監督

で制作予定だったが、倒産し撮影所が閉鎖されたため、大映で失職した人達が映像京都を作り、オールロケで作った。主題歌は他局では歌うことはなく歌手にメリットがないため、当時誰も歌いたがらなかった。フォーク歌手がコンサートで歌えるからと、市川崑の奥様の作詞、小室等の作曲で上条恒彦が歌った。紋次郎の三度笠はものすごく大きいため、三度笠から顔が出るほど面長で長身な中村敦夫が主演に採用された。ライバル番組は「必殺仕掛人」。紋次郎は人と関わらずに田舎道ばかり歩いていた孤独な渡世人。必殺シリーズは江戸で集団で金をもらって人と関わりながら殺す。2番組ともアウトローだが対照的。視聴率は30%で拮抗していた。1960年代は勸善懲惡の時代劇。1970年代はアウトローの時代劇。みんなでいっしょに手をつないで幸せになろうとする高度成長時代から、1973年にオイルショックになってアウトロー時代劇が出てきた。紋次郎の誰とも一緒にならず、幸せになろうとも思わない生き方に視聴者が共感を持った。仕掛人も表の幸せだけが幸せではないと言っていたような気がする。

4. 1980年代はテレビ時代劇にとっては厳しい時代

80年代はバブルで世の中が浮かれてきた。性別・世代別視聴率を調査するようになり、時代劇は50以上の年代が見ていることがわかり、スポンサーは若い世代に購買してもらうために、トレンドドラマを制作し、ドラマの質が変わってきた。娯楽一色、バラエティの時代。テレビ時代劇には厳しい状況になった。バブルがはじけ、制作費が3倍かかる時代劇は制作費削減が求められた。

5. 時代劇は日本の最強のコンテンツ

見たいという声が時代劇を作る原動力になるので、ツイッター、新聞の投書をしてほしい。時代劇は日本の最強のコンテンツ。何年前のものでも面白い。トレンドドラマは5年たつと古びるが、時代劇は最初から古いから色あせない。時代劇は、海外にもっと売れると思う。「今日の話で少しでも時代劇に興味を持っていただいたら、時代劇を映画館やテレビで見てください」と締めくくられ、盛大な拍手で幕を閉じました。

<p>瑞陵会会長 (公財) 全国中小企業取引振興協会会長 中村利雄 (瑞17回) 〒104-0033 東京都中央区新川2-1-9</p>	<p>稲垣俊宏税理士事務所 税理士 稲垣俊宏 (瑞47回) 〒471-0064 豊田市梅坪町9-4-5 FESTA80 208 TEL.0565-63-5764 FAX.0565-63-5774 E-mail inagaki-cpta@arrow.ocn.ne.jp</p>	<p>てらかど動物病院 院長 寺門俊博 獣医師 (瑞45回) 〒465-0087 名古屋市長区名東本通5-19 TEL.052-703-1101 FAX.052-703-1189 http://www.terakado-ah.com</p>
--	--	---

投稿

「デザインで人々を幸せにしたい」 ..と思ってから40年くらい経った今...

長屋 明浩 ヤマハ発動機 執行役員デザイン本部長(瑞31回)

表題のとおり、志を立ててからあつという間に40年くらい経ってしまいました。高校在学中にデザイナーになろうと決めて考えてみるとあんまりブレずに、歩んできたのかもしれませんが。昨年の同会報にご執筆の江口 倫郎さんは、勿論瑞陵の先輩であるとともに愛知県立芸術大学の先輩でもあり、寄稿の命を受けましたので少し半生を綴らせて頂くことにしました。紙面が限られているのと、職業が企業のインハウスデザイナーなので百「文」は一見に如かず、という意味で図版をメインとした構成とさせて頂きました。

- 1979年 愛知県立瑞陵高校普通科卒
- 1983年 愛知県立芸大卒 同年トヨタ自動車(株)入社
- 1984年～ 初代レクサスLS400/セルシオ、アリストなど各車開発 
- 2000年12月～2002年12月
(株)テクノアートリサーチ 専務取締役 出向 プリウスなど提案/製品化採用 
- 2003年12月 ミシガン州パークレー大学日本校 MBA(経営学修士) 取得
- 2003年1月～2005年12月 レクサス企画部 レクサスブランド企画室 室長
兼 レクサス国内営業部 主査 国内レクサス立ち上げ、
グローバルレクサスブランド構築に従事。
- 2006年1月～ デザイン開発部長 カラー、部品、マリン、ロボット、UD 
- 2010年1月～ トヨタデザイン部長 全トヨタ製品デザイン開発指揮
- 2012年6月～ (株)テクノアートリサーチ 代表取締役社長 
- 2014年1月～ ヤマハ発動機(株) デザイン本部 
- 2014年7月～ デザイン本部長



1979～1983 愛知県立芸大。
段ボールで作る遊具は園児が評価する実戦課題。その後の仕事の現地現物に。卒業制作は50ccの車椅子乗車できる実車を制作してしまっ。中日新聞にも掲載された。



↑生涯を通じてのライフワークともいえる音楽活動。高校時代も部活はブラバンでした！トランペットとサックス二刀流のプレイヤーはレアです。

↓1983～トヨタ入社し、二台目のプロジェクトがなんと初代セルシオ。ド新人がフロントを任せられ、四苦八苦して仕上げました。これが契機でこの後レクサスブランド企画を任されることになるとは...





←1991～1994 米国キャルティ・デザイン・リサーチ社に駐在。アメリカっぽくないスモールカー提案。予算も人もないプロジェクトで、見せ方も含めて考えたデザイン。いつも仕事は手探り、手作り、開拓者。



↓2003～2005 初代セルシオ(レクサスLS)を担当していた為、2005年の国内レクサス立ち上げとともにグローバルブランド化させるブランド企画室長を拝命。大きな仕事で、フィロソフィの構築に始まり多くの施策を手がけた。ここでは紙面不足なので詳細割愛。私の名前でweb検索すると色々出てきます。



←1994～帰国して大物モデルを次々とデザイン開発担当した。代表作アリストと三代目セルシオ。

レクサスの哲学と商品開発



←2001～2002ハイブリッド車のデザインのキーアイコンとなったプリウス。テクノアートリサーチというトヨタのデザイン子会社に専務で出向し、提案採用された。スケッチは岡本デザイナーのもの。



本質的・根源的なデザイン開発ができる『ヤマハモーター イノベーションセンター』

- ヤマハ発動機グループのデザイン司令塔
- 製品デザイン開発の環境整備と、デザイナーとエンジニアとのコラボレーション強化
- 新たなイノベーションを生み出す先行デザイン研究の拠点



↑2014～ヤマハ発動機に迎えられ、デザイントップに。デザインを機軸にブランドを作る活動を日々更新中！詳細はヤマハモーターデザインでweb検索を！

平成29年度 瑞陵会 役員 (2017年 8月現在)

1. 名誉会長	2. 名誉顧問	3. 顧問	4. 会長	5. 副会長	6. 常任幹事	7. 総務	8. 会計管理	9. 監査	常任幹事	常任幹事	常任幹事																																																								
校長 新井 忠	五 37 鳥居 大	瑞 5 高木 修	瑞 12 判治 誠吾	瑞 12 三宅 養三	瑞 13 齊藤 二郎	瑞 15 伊神 勝彦	瑞 17 加藤 正躬	瑞 17 久田 宗弘	瑞 19 掛斐 敏夫	瑞 20 錫村 明生	瑞 22 岡本 信明	瑞 24 丸山 昌宏	瑞 17 中村 利雄	瑞 15 濱田 亮	瑞 16 荒木 郷兵	瑞 17 青木 俣晃	瑞 17 天野 清美	瑞 18 一ノ瀬 喜之	瑞 18 安島 政実	瑞 19 浜島 昭二	瑞 20 佐合 広利	瑞 20 寺田 志郎	瑞 17 水野 達郎	瑞 18 木村 鍾治	瑞 19 木下 道子	瑞 20 栗田 真砂	瑞 20 濱島 誠一郎	瑞 20 森 重統	瑞 21 澤田 耕一	瑞 21 秋田 真希子	瑞 21 木村 恵子	瑞 21 柴田 達男	瑞 22 鬼頭 誠	瑞 22 鬼頭 恵子	瑞 22 近藤 哲典	瑞 23 成田 龍一	瑞 23 松尾 知之	瑞 23 下岡 和美	瑞 24 上杉 修平	瑞 24 鈴木 克彦	瑞 25 朝倉 隆司	瑞 25 天鷲 操子	瑞 25 松本 有子	瑞 25 中根 卓郎	瑞 26 岩田 隆	瑞 27 西郷 孝	瑞 27 鈴木 英利	瑞 27 早瀬 弘親	瑞 27 若松 文彦	瑞 28 田中 健二	瑞 28 富屋 誠一郎	瑞 29 青山 和暁	瑞 29 古橋 成彦	瑞 29 石原 広道	瑞 29 上林 公子	瑞 29 山下 富喜雄	瑞 30 玉山 哲郎	瑞 37 山口 寛	瑞 37 瀧崎 優佳	瑞 38 佐藤 成俊	瑞 39 野間 茂	瑞 42 近藤 弘	瑞 47 三品 耕作	7. 総務 全日教頭 篠原 昇人	8. 会計管理 事務長 田中 義仁	9. 監査 定時教頭 石川 治志	瑞 5 三浦 チエ子

瑞陵会 会則 (平成26年改正)

- 第1条 本会は瑞陵会と称す。
- 第2条 本会は会員相互の親睦をはかり、併せて母校の発展に寄与することを目的とする。
- 第3条 本会は愛知県立第五中学校、愛知県熱田中学校、愛知県熱田第二中学校、愛知県実務女学校、愛知県女子商工学校、愛知県貿易商業学校、愛知県立瑞陵高等学校卒業生を会員とし、母校現職員および旧職員を客員とする。但し、中途転校者等かつて在籍した者も希望すれば役員会の承認を得て会員とすることができる。
- 第4条 本会に次の役員および期別幹事を置く。
- (1) 名誉会長 1名 現職中学校長
 - (2) 会長 1名
 - (3) 副会長 若干名
 - (4) 常任幹事 若干名
 - (5) 総務 2名 瑞陵高校現職員から選出する。
 - (6) 会計管理 3名 うち1名は瑞陵高校事務職員とする
 - (7) 監査 2名
- 第5条 役員を選出と任期
- (1) 前条の役員は、総会で選出する。
 - (2) 役員の任期は2年とする。但し、再選は妨げない。
 - (3) 前項に定める役員の任期の始期は、改選年の定例総会開催の日の属する月の翌々月の初日からとする。
 - (4) 役員が欠けたときには、役員会において選出、補充することができる。その場合は、総会で報告し、承認を得ることとする。
- 第6条 各役員の仕事は次のとおりとする。
- 会長 本会を代表して会務を統括する。
- 副会長 会長を補佐し、会長に事故ある時はこれに代わる。
- 常任幹事 役員会を構成し審議する。
- 総務 事務を管理する。
- 会計管理 会計を管理する。
- 監査 会計を監査する。
- 第7条 名誉顧問および顧問
- (1) 名誉顧問は、歴代会長及び同窓会に顕著な功績のあった方から、総会の議決を経て会長が委嘱する。
 - (2) 顧問は、経済界、学会、法曹界、教育界、スポーツ界など各種分野の著名人で、同窓会を支えていただける方から、総会の議決を経て会長が委嘱する。
 - (3) 名誉顧問および顧問は、会長の諮問に応じ助言する。
- 第8条 期別幹事
- (1) 期別幹事は、年次ごとに若干名を置き、各年次の取りまとめ及び本会との連絡調整などの任務を行う。
 - (2) 期別幹事は、役員会の推薦を経て会長が委嘱する。
 - (3) 期別幹事の任期は2年とする。但し、再任は妨げない。
- 第9条 本会はその目的達成のため、次の会合および毎年1回交流会を開く。
- (1) 総会 定例総会は毎年1回開催し、臨時総会は役員会で必要と認められた時にこれを開催し、①会則の改正、②役員を選出、③その他必要事項について審議する。
 - (2) 役員会 第4条の役員で構成し、①総会に付議する事項、②会務および会計、③専門委員会の承認、その他必要事項を審議し、会務を処理する。
- 第10条 議決はすべて出席員の過半数によって定められる。
- 第11条 (1) 会長は役員会の議決を経て各種専門委員会を置くことができる。(a. 総会実行委員会、b. 親睦委員会、c. 会報委員会、d. その他)
- (2) 専門委員会の委員長は役員から充て、委員は役員会の推薦を経て会長が委嘱する。
- 第12条 庶務
- (1) 庶務は若干名を置き、瑞陵高校現職員及び旧職員のうちから会長が委嘱する。
 - (2) 庶務は、本会の事務を処理する。
- 第13条 本会の経費は次の収入をもってこれに充てる。
- (1) 入会金 3,000円とする。
 - (2) 賛助会費 一口5,000円(5年分)以上とする。
 - (3) 広告料、交流会費、その他の収入
- 第14条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。
- 第15条 本会の事務局を瑞陵高等学校内に置く。
- 第16条 会員多数の地には、総会の承認を得て支部を設けることができる。
- 第17条 本会則は、総会の議決を経なければ改正することはできない。
- 第18条 本会則に定めない事項は、役員会の審議を経てこれを決定する。
- 付則 この改正規定は、平成24年度から施行する。但し、平成24年度総会の準備、賛助会員の募集、会報の準備など、会長が必要と認める事項は、平成24年1月31日以降、専門委員会準備会を設置し、準備を進めることができる。
- 平成26年4月1日改正附則
- 付則1 改正規定は、平成26年4月1日から施行する。
- 付則2 平成26年3月31日現に役員である者の任期は、第5条(2)の規定にかかわらず、同年の定例総会の属する月の翌月の末日までとする。

平成28年度 瑞陵会会計決算書

収入済額 6,497,865円 支出済額 4,831,325円
 残額 1,666,540円

収入の部 (単位：円)

項目	予算額	収入済額	残 額	摘 要
繰越金	1,843,057	1,843,057	0	前年度から繰越
繰入金	2,450,956	2,520,956	70,000	賛助会計、基金(エアコン)から繰入
入会金	1,140,000	1,146,000	6,000	3,000円×382名
参加費	1,000,000	585,000	△415,000	総会参加費
広告収入	400,000	365,840	△34,160	名刺広告収入等
雑収入	987	37,012	36,025	名簿販売、預金利息等
合 計	6,835,000	6,497,865	△337,135	

支出の部

項目	予算額	支出済額	残 額	摘 要
事務費	750,000	281,229	468,771	
報償費	400,000	106,524	293,476	全国大会表彰、花巻、講堂等
報酬費	100,000	0	100,000	非常勤職員の報酬
通信費	100,000	86,879	13,121	郵便切手等
需用費	150,000	87,826	62,174	同窓会館電気料・消耗品費等
会議費	150,000	38,347	111,653	
役員会	50,000	20,000	30,000	会議経費等
委員会	50,000	18,000	32,000	会議経費等・総会委員会
需用費	50,000	347	49,653	消耗品等
事業費	5,783,456	4,150,039	1,633,417	
交流会場費	2,000,000	1,721,643	278,357	総会・交流会費用
会報費	1,000,000	652,860	347,140	会報印刷・送付費用
エアコンリース代	1,083,456	1,083,456	0	
ポブラシート	500,000	500,000	0	平27年で完了、私設経費
学校支援事業	1,000,000	92,080	907,920	エアコン、職員、水筒、印刷等
支部支援事業	200,000	100,000	100,000	関東瑞陵会支援
予備費	151,544	361,710	△210,166	リゾートニア杉原ハウス修繕費計6,300円
合 計	8,106,000	5,198,186	2,907,814	

平成28年度 瑞陵会積立金会計決算書

収入済額 2,202,680円 支出済額 0円
 残額 2,202,211円

収入の部 (単位：円)

項目	予算額	収入済額	増減額	摘 要
繰越金	2,202,211	2,202,211	0	前年度から繰越
雑収入	389	469	80	預金利息等
合 計	2,202,600	2,202,680	80	

支出の部

項目	予算額	支出済額	残 額	摘 要
繰出金	0	0	2,202,680	0

平成28年度 瑞陵会賛助会費会計決算書

収入済額 3,160,537円 支出済額 1,437,500円
 残額 1,723,037円

収入の部 (単位：円)

項目	予算額	収入済額	増減額	摘 要
繰越金	1,811,022	1,811,022	0	
賛助会費	1,000,000	1,349,508	349,508	179名
雑収入	978	7	△971	
合 計	2,812,000	3,160,537	348,537	

支出の部

項目	予算額	支出済額	差 額	摘 要
繰出金	1,367,500	1,437,500	△70,000	瑞陵会会計へ繰出

(一財) 瑞陵高校瑞陵会基金

収入 約170万円 支出 約520万円 3月末現在額 約930万円
 (前年度繰り越し額約1,280万円+平28年度分168万円)

平成29年度 瑞陵会会計予算書

収入予算額 6,284,000円 支出予算額 6,284,000円
 差引額 0円

収入の部 (単位：円)

項目	予算額	前年度予算額	増減額	摘 要
繰越金	1,666,540	1,843,057	△176,517	前年度から繰越
繰入金	2,076,956	2,450,956	△374,000	同窓会・基金(エアコン)から繰入
入会金	1,140,000	1,140,000	0	3,000円×380名
参加費	1,000,000	1,000,000	0	総会参加者(200名)
広告収入	400,000	400,000	0	名刺広告収入等
雑収入	504	987	△483	預金利息等
合 計	6,284,000	6,835,000	△551,000	

支出の部

項目	予算額	前年度予算額	増減額	摘 要
事務費	750,000	750,000	0	
報償費	300,000	400,000	△100,000	表彰等
報酬費	100,000	100,000	0	非常勤職員の報酬
通信費	200,000	100,000	100,000	郵便切手等
需用費	150,000	150,000	0	電気料・消耗品費等
会議費	150,000	150,000	0	
役員会	50,000	50,000	0	会議経費等
委員会	50,000	50,000	0	会議経費等
需用費	50,000	50,000	0	消耗品等
事業費	5,193,456	5,783,456	△590,000	
交流会費	2,000,000	2,000,000	0	総会・講演会・懇親会費等
会報費	1,000,000	1,000,000	0	会報印刷(機材+送料等)
エアコンリース代	1,083,456	1,083,456	0	基金から(90,280円×12月)
ポブラシート	0	500,000	△500,000	平成28年で終了
学校支援事業	1,000,000	1,000,000	0	学習環境整備(ポブラシート等)
支部支援事業	110,000	200,000	△90,000	関東瑞陵会支援
予備費	190,544	151,544	200,000	
合 計	6,284,000	6,835,000	△551,000	

平成29年度 瑞陵会積立金会計予算書

収入予算額 2,203,000円 支出予算額 0円
 差引額 2,203,000円

収入の部 (単位：円)

項目	予算額	前年度予算額	増減額	摘 要
繰越金	1,000,000	1,000,000	0	学習環境整備(ポブラシート等)
雑収入	110,000	200,000	△90,000	関東瑞陵会支援
合 計	190,544	151,544	39,000	

支出の部

項目	予算額	前年度予算額	増減額	摘 要
繰出金	0	0	0	

平成29年度 瑞陵会賛助会費会計予算書

収入予算額 3,724,000円 支出予算額 993,500円
 差引額 2,730,500円

収入の部 (単位：円)

項目	予算額	前年度予算額	増減額	摘 要
繰越金	1,723,037	1,811,022	△87,985	前年度から繰越
賛助会費	2,000,000	1,000,000	1,000,000	400名
雑収入	963	978	△15	利子等
合 計	3,724,000	2,812,000	912,000	

支出の部

項目	予算額	前年度予算額	増減額	摘 要
繰出金	993,500	1,367,500	△374,000	

瑞陵高校の近況

瑞陵進路セミナー（平成28年度）

- 進路セミナー
 - 6月8日 「夢をかなえるために大事なこと三つ」
瀬尾 拡史氏(医師、サイエンスCGクリエイター)
 - 7月5日 「光と植物の美味しい関係」
-LEDを用いた新しい野菜づくり-
渡辺 博之氏(玉川大学 農学部教授)
- キャリアガイダンス(卒業生のみ記載)
 - 医療関係 小早川雄介氏(46回)大同病院医師
 - 法律関係 安井 一大氏(56回)鶴舞総合法律事務所弁護士
 - 金融関係 森 信竹氏(29回)株式会社名古屋銀行
 - 建築関係 宮崎 雅博氏(20回)株式会社杉本組
 - 公務員・教員関係 森 重統氏(20回)瑞陵高校非常勤講師

濱島誠一郎奨学事業報告（平成28年度）

- バス旅行による研修
 - 茶道研修と京都の庭園を巡る(表千家不審庵、高台寺、詩仙堂等) 7月29日 37名
 - 杉原千畝の出身地 八百津訪問(杉原千畝記念館、五木の瀧) 11月13日 32名
 - 歌舞伎鑑賞と新撰組ゆかりの地巡り(先斗町歌舞練場、壬生寺・八木邸等) 歌舞伎鑑賞はボプラ事業(最後)、バスは濱島事業のコラボ。京都南座が改築中で歌舞練場となった。12月10日 41名
 - 歩いて味わう熊野古道(ツヅラト峠道) 2月4日 31名
 - 歴史を訪ねて「飛鳥・奈良」(飛鳥寺、興福寺等) 3月19日 17名
- 博物館・美術館での研修
 - ボストン美術館(ルノワールの時代) 6月4日 22名
 - 世界遺産「ポンペイ」展見学 7月31日 19名
 - 「ゴッホとゴーギャン展」「吉田博木版画展」 2月4日 22名
- 研究助成
 - 「発酵による熱エネルギーの発生とその有効利用」の研究費助成 4名
 - 「JAXAスペーススクール」北海道大樹町 参加助成 1名
 - 知の探究講座「プログラミングの扉を開く」県立大 1名

瑞陵高校助成基金事業(熊澤喜八郎事業)

- 海外学習事業
 - 「スミソニアン博物館群とメトロポリタン美術館見学の旅8日間」3月18日(土)～3月25日(土)10名
- 海外学習生徒派遣事業Challengingコース事業
 - ホームステイによるニュージーランド短期留学(男女1名)
 - ウエリントン市 Scots College(男子) Margaret College(女子) 7月29日(金)～8月23日(火)

大学入試状況(過去3カ年)

	29年度入試	28年度入試	27年度入試		29年度入試	28年度入試	27年度入試		28年度入試	28年度入試	27年度入試
北海道大	3	5	1	三重大	8	15	12	日本大	6	1	3
東北大	2	0	1	京都大	3	1	2	愛知大	41	60	40
筑波大	2	1	2	大阪大	3	2	2	愛知医科大	12	7	7
千葉大	1	0	2	奈良女子大	2	1	0	愛知学院大	13	22	15
東京大	0	0	0	神戸大	2	2	3	愛知淑徳大	25	30	40
東京工業大	0	0	1	広島大	3	0	2	金城学院大	17	26	15
東京外国語大	0	0	0	愛知県立大	4	17	11	椛山女学園大	24	24	39
東京海洋大	1	1	0	名古屋市立大	12	14	10	中京大	58	77	62
お茶の水女子大	1	0	1	国公立大学計	173	168	148	豊田工業大	9	4	2
一橋大学	1	0	1					南山大	189	127	109
横浜国大	3	1	4	青山学院大	4	3	3	名古屋外大	22	40	12
富山大	0	2	3	慶応義塾大	3	4	5	名城大	149	145	120
金沢大	6	2	2	早稲田大	6	15	4	藤田保健衛生大	19	28	15
信州大	9	5	4	上智大	2	2	1	京都女子大	0	1	4
静岡大	3	6	10	明治大	15	22	25	立命館大	77	98	92
愛知教育大	17	10	13	法政大	3	22	12	同志社大	45	45	35
名古屋大	30	14	13	立教大	5	2	4	関西大	18	18	9
名古屋工業大	16	19	15	中央大	15	14	11	関西学院大	7	5	6
岐阜大	18	13	10	東京理科大	19	11	16	私立大学計	956	1031	879

部活動の活躍(平成28年8月～29年5月まで)

- 平成28年度
 全国高校総合体育大会 陸上競技部 女子走り高跳・榊原至佳子
 全国高等学校総合文化祭 囲碁専門部 水野善人
 第2回3×3日本選手権大会 男子バスケットボール部
 東海高等学校総合体育大会 陸上競技部 女子走り高跳2位
 東海高等学校新人体育大会 陸上競技部 女子やり投8位
 愛知県高等学校新人体育大会
 陸上競技部：男子(円盤投5位、走幅跳6位) 女子(やり投3位、円盤投4位)
 弓道部：男子団体、男子個人、女子個人
 水泳部：男子100Fr、100Br、女子100Fr、100Ba、100Br、200IM、400MR、400FR
 県高文連将棋大会新人戦(棋道部：個人3位)
 第37回名古屋市内県立高校体育大会
 (男子総合3位、女子総合3位)
 陸上部(男子優勝、女子2位、駅伝女子3位)
 柔道部(女子個人優勝)
 水泳部(女子総合3位、女子400F優勝、他2・3位多数)
 バドミントン部(男子団体優勝、女子団体2位、女子W2位)
 弓道部(団体：男子3位、女子優勝・3位、個人：男子優勝、女子2・3位)
 バレーボール部(男子2位、女子2位)
 その他の大会(県大会相当)
 バドミントン部：高等学校選手権県大会(男子団体I部、女子団体I・II部)
 バレーボール部：高等学校選手権県大会(男子、女子)
 バスケットボール部：3×3日本選手権県大会(男子2位)
 吹奏楽部：県アンサンブルコンテスト(サクソフォン四重奏 銀賞)
 中部日本個人・重奏コンテスト(バリトンサクソ独奏 銀賞)
 生物部：日本生物学オリンピック予選(優良賞3件)
 第15回AITサイエンス大賞(ものづくり部門 優秀賞、社会科学部門 奨励賞、自然科学部門 努力賞)
 食物料：第2回高校生スイーツコンテスト 敢闘賞
 牛乳製品利用料理コンクール 優良賞

- 平成29年度
 東海高等学校総合体育大会 陸上競技部 男子走幅跳11位
 愛知県高等学校総合体育大会県大会
 陸上競技部：(男子 走幅跳6位、200、400、400H、4×100R、4×400R、走高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、やり投) 女子 100、200、100H、4×100R、4×400R、5000W、走高跳、砲丸投、円盤投、やり投)
 水泳部：(男子100Br、400MR 女子200Fr、100Ba、200Ba、100バタ、200バタ、200IM、400IM、400MR、400FR、800FR、バドミントン部(女子団体、男子単)、卓球部(男子団体)、ソフトボール部、剣道部(男子団体)、弓道部(女子団体)、女子バレーボール部、サッカー部
 その他の大会(県大会相当)
 吹奏楽部：管楽器ソロコンテストin東海(サクソフォン 最優秀賞、トランペット奨励賞)
 食物料：第3回スイーツコンテスト敢闘賞、抹茶スイーツ選手権入選

杉原ウイーク2017短歌大会 心賞 2年 小泉満菜

一般財団法人瑞陵高校瑞陵会基金 寄付者 (敬称略)(平成28年8月~平成29年8月) 太字は高額のご寄付をいただいた方です。

Table listing donors and their contribution amounts. Columns include names (e.g., 下山 尾崎, 藤原 輝彦), amounts (e.g., 515, 524), and names of family members or recipients (e.g., 藤原 輝彦, 藤原 輝彦).

賛助会員名簿 (敬称略) 平成28年8月～平成29年8月

Table with 48 columns and 60 rows listing members with their names and numbers. The table is organized in a grid format with 48 columns and 60 rows.

賛助会費募集

瑞陵会はネットワーク作りと財政再建が最大の課題です。卒業生の入会金だけでは事業の経費がまかなえず、財政の健全化は焦眉の急となっております。

そこで、財政健全化のために平成24年から賛助会費を募ることにしました。5年分の年会費と考え賛助会費にご協力下さい。5年間会報を送らせていただきます。会報は瑞陵会ホームページでもご覧頂けますが、あなたの愛校心が瑞陵会の支えです。振り込み用紙の請求は瑞陵高校内瑞陵会事務局までどうぞ。(用紙がなければ、振込み手数料本会払いでも構いません)

賛助会費一口 5,000円 (一口以上でお願いします) 郵便振替 (口座番号00880-7-190740) 払込先 瑞陵会

会報発送と名簿整理の都合上 〒・住所、氏名、回生 (卒業年度) をご記入下さい。

編集後記 //

110周年記念号をお届けします。今号の卒業生寄稿はヤマハの長屋明浩氏です。前号で執筆をお願いした江口倫郎氏のご紹介ですが、改めて同窓生の多彩さを実感しています。卒業生のこうした活躍に現役生が刺激を受け、同窓諸氏の視野が広がり、もって母校への思いが高まれば、それがまさに本会報の目指すところです。母校の益々の発展と同窓各位のご健康、ご活躍を祈念いたします。(S.H.)

訃報 五中-瑞陵100周年事業、ポプラシート事業、この度の110周年事業にご尽力いただきました瑞陵会副会長の濱田堯氏(瑞15回)が10月4日に急逝されました。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

瑞陵会ホームページのご案内

<http://www.bekkoame.ne.jp/i/zuiryokai/>

会報は瑞陵会のホームページにも掲載しています。今まで郵送でお届けしていた同窓生で、ホームページがあれば郵送不要と思われる方は、編集委員までお知らせください。

原稿募集のご案内

瑞陵会報の原稿として、在校生時代の出来事、学校行事、生徒会活動、部活動など、卒業生の活躍などを書いていただける方(自薦・他薦)は編集委員までお知らせ下さい。

編集責任者：浜島昭二(瑞19回)
shoji.hamajima@gmail.com

瑞陵法曹会有志一同

外堀通り法律事務所

高木 修 (瑞5回)
〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-2-7
丸の内弁護士ビル901号
TEL.052-201-7656 FAX.052-204-1244

中村正典法律事務所

中村 正典 (瑞21回)
〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-6-27
EBSビル2階
TEL.052-971-7424 FAX.052-971-7425

大島真人法律事務所

大島 真人 (瑞26回)
〒460-0003 名古屋市中区錦2-19-1
名古屋鴻池ビル9階
TEL.052-220-2225 FAX.052-220-2228

東海法律事務所

石川 智太郎(瑞11回)
〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-5-35
弁護士ビル901・902号
TEL.052-961-0651 FAX.052-961-0653

金山総合法律事務所

渥美 玲子 (瑞22回)
〒460-0022 名古屋市中区金山1-9-17
金山スズキビル8階
TEL.052-331-9054 FAX.052-331-9060

白井法律事務所

白井 幹裕 (瑞33回)
〒460-0003 名古屋市中区錦3-1-30
錦マルエムビル3階
TEL.052-218-0566 FAX.052-221-5656

弁護士法人 柴田・中川法律特許事務所

柴田 肇 (瑞15回)
〒440-0814 豊橋市前田町1-2-11
TEL.0532-53-7087 FAX.0532-54-2106

弁護士法人 岐阜合同法律事務所

安藤 友人 (瑞22回)
〒500-8812 岐阜市美江寺町1-5
岐阜北青色会館
TEL.058-264-3780 FAX.058-264-3784

光が丘法律事務所

佐藤 成俊 (瑞38回)
〒464-0006 名古屋市中区千種区光が丘1-18-3
TEL.052-712-3350 FAX.052-712-3352

中部総合法律事務所

長谷川 忠男(瑞15回)
〒462-0014 名古屋市中区北區楠味鏡5-311
TEL.052-982-7632 FAX.052-982-7862
TEL.052-982-7672

成田龍一法律事務所

成田 龍一 (瑞23回)
〒460-0003 名古屋市中区錦3-14-14
夢現錦ビル6階
TEL.052-973-0531 FAX.052-973-0533

ジェイ・ユー・エヌ服部順法律事務所

服部 順 (瑞38回)
〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-21-25
清風ビル5階
TEL.052-962-8511 FAX.052-962-8512

さくら総合法律事務所

加藤 謙一 (瑞19回)
〒514-0007 三重県津市大谷町21-8
TEL.059-227-6951 FAX.059-225-5943

弁護士法人 名古屋総合法律事務所

浅野 了一 (瑞24回)
〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-20-25
丸の内STビル6階
TEL.052-231-2601 FAX.052-231-2602

鶴舞総合法律事務所

安井 一大 (瑞56回)
〒466-0015 名古屋市中区昭和区御器所通3-18
エステイプラザ御器所4階
TEL.052-852-1220 FAX.052-852-1227

加藤茂法律事務所

加藤 茂 (瑞19回)
〒466-0064 名古屋市中区昭和区鶴舞3-8-9
TEL.052-732-7821 FAX.052-732-7822

後藤和男法律事務所

後藤 和男 (瑞24回)
〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-14-20
ザ・スクエア8階S8号室
TEL.052-202-0680 FAX.052-203-1417

原島法律事務所

栗山 晋 (瑞57回)
〒460-0003 名古屋市中区錦3-5-31
ジブラルタ生命名古屋錦ビル4階
TEL.052-959-4511 FAX.052-959-4512